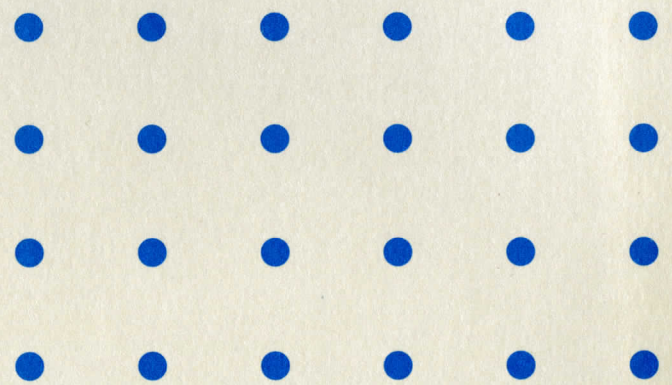
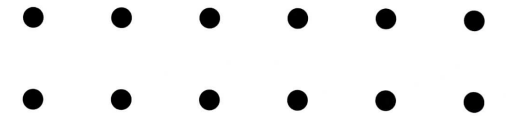


# Fukuoka Art Museum Annual Report 1999

平成11年度

福岡市美術館  
活動の記録

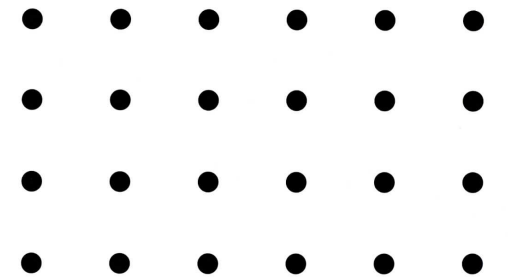




# Fukuoka Art Museum Annual Report 1999

平成11年度

福岡市美術館  
活動の記録



## 目次

凡例	04
美術館日誌	05
展示活動	06
特別企画展等	06
常設企画展	16
常設展	20
貸館展	22
観覧者数一覧	27
教育普及活動	28
アートアドベンチャー	28
夏休みこども美術館	28
講座・講演会	30
博物館実習	30
ボランティア活動	31
読書室企画	33
施設利用状況	34
出版物	38
調査研究活動	40
収集活動	41
美術資料	41
図書・映像資料	55
美術資料の修復と貸出	55
名簿	57
資料	59
美術館平面図	60
施設概要	62
関係法規	63
利用案内	71

凡例

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成11年4月1日から平成12年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH、11は平成11年の略字である。
- 2 美術館日誌は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は観覧者数一覧に別途記載している。また、展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。また、展覧会関連事業は施設利用状況にも別記している。
- 4 収集活動の美術資料は平成11年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。アートの寸法(法量)は、平面作品では146.2×112.3は縦146.2、横112.3(版画の場合はイメージサイズ)で、立体作品では、74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家 <sup>(注1)</sup>	A 油彩等 <sup>(注2)</sup>	作品番号
2 日本作家	B 日本画等 <sup>(注3)</sup>	
3 海外作家	C 水彩等 <sup>(注4)</sup>	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 大田コレクション	G 彫刻等 <sup>(注5)</sup>	
11 森山コレクション	Ha~Hd 工芸	
13 山崎朝霞資料	I 書跡	
14 一般古美術資料	J 文書	
15 研究資料	K その他	
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 エイコスマコレクション		

注

- 1 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
- 2 A…油彩等の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
- 3 B…日本画等の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
- 4 C…水彩等の分類には、バステルなどの多色を基調とする作品も含む。
- 5 G…彫刻等の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- 6 H…工芸は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHdとした。

なお、西本コレクションの作品名については当館で作成した作品名を [ ] でくくり、区別している。

- 5 図版の \*、\*\* は撮影者の区別である。  
\*は藤本健八氏、\*\*は藤本彦氏撮影。

平成11年

- 4月24日(土) MOA美術館名品展「桃山の美・江戸の美」開会式  
MOA美術館名品展講演会を開催
- 5月1日(土) MOA美術館名品展講演会を開催
- 5月5日(水) こどもの日につき小中学生の常設展入場を無料とした
- 5月17日(月) 収集審査会
- 5月24日(月) 収集審査会
- 7月1日(木) 開館時間延長を開始(8月31日まで)
- 7月2日(金) 作品寄贈者への感謝状贈呈式
- 7月16日(金) 古代エジプト展開会式
- 7月24日(土) 夏休みこども美術館ギャラリートークを開催(同月31日、8月21日の計3回)
- 8月6日(金) 夏休みこども美術教室ワークショップ「布を染めよう」を開催(8日、10日、12日の計3回)
- 8月28日(土) ヒューストン美術館展開会式
- 9月12日(日) ヒューストン美術館展講演会を開催
- 9月30日(木) ボルドー美術交流団出発。  
事業管理部長脇山勝之を団長とする美術交流団をボルドー市(フランス)へ派遣(10月9日まで)
- 10月29日(金) ラファエル・コラン展開会式
- 10月30日(土) ラファエル・コラン展講演会を開催
- 11月3日(水) 文化の日につき常設展を入場無料とした
- 11月4日(木) 開館20周年記念パーティーを開催
- 11月6日(土) 開館20周年記念講演会を開催
- 11月9日(火) 美術館協議会を開催
- 11月12日(金) 天皇在位10年を記念して常設展を入場無料とした
- 11月14日(日) ラファエル・コラン展フォーラムを開催
- 12月28日(火) 仕事納めの式



作品寄贈者への感謝状贈呈式



開館20周年記念パーティー

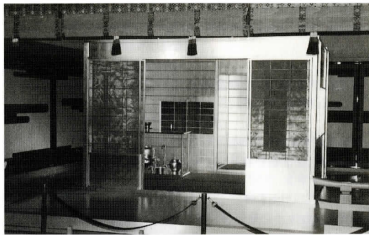
\*\*

平成12年

- 1月4日(火) 仕事始めの式
- 1月8日(土) 第1回21世紀の作家—福岡 村上勝展のアーティストトークを開催
- 1月31日(月) ゴッホ展開会式
- 2月1日(火) 珠玉の東南アジア美術展開会式
- 2月12日(土) 所蔵品によるアートセミナー「仏像に親しむ」を開催(同月19日、26日、3月4日、11日の計5回)
- 2月15日(火) 福岡市美術館の延観覧者1,500万人達成
- 2月19日(土) ワークショップ「ゴッホになろう!」を開催
- 2月20日(日) 珠玉の東南アジア美術展講演会を開催
- 2月27日(日) ゴッホ展講演会を開催
- 3月7日(火) 第34回福岡市美術展審査会を開催(3月9日まで)
- 3月15日(水) 第34回福岡市美術展審査結果発表
- 3月22日(水) 第1回21世紀の作家—福岡 村上勝展ギャラリートーク開催

博多開港100周年記念協賛事業  
MOA美術館名品展「桃山の美・江戸の美」

会期◎平成11年4月24日(土)—5月16日(日)  
会場◎特別展示室 A



会場風景

主催◎福岡市美術館/西日本新聞社/テレビ西日本  
後援◎福岡県/福岡県教育委員会/九州旅客鉄道/西日本鉄道  
西日本リビング新聞社/CROSS FM/FM FUKUOKA  
LOVE FM/福岡県茶道文化連盟/福岡煎茶各流派委員会  
大宰府茶会実行委員会  
協力◎MOA美術館/エム・オー・エー美術・文化財団

内容

静岡県熱海市のMOA美術館は、日本・東洋・西洋の美術工芸の名品約3,500点を所蔵する我が国でも有数の私立美術館である。  
本展は博多開港百周年を記念して、MOA美術館の所蔵品のなかでも南蛮美術など海外との交流に関する作品や、九州にゆかりの深い作品、茶の湯関連の作品を中心として、桃山と江戸の美術を紹介。重要文化財「洋人奏楽図屏風」や重要文化財「色絵桃花文皿」の展示のほか、復元された豊臣秀吉の「黄金の茶室」を会場内に設置し、往時を偲ばせた。



ポスターB2

入場料	一般……………1,000円(800円)	( )内は前売、団体(20人以上)、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料金。
	高・大生……………800円(600円)	
	小・中生……………500円(300円)	

開催日数 20日

出品点数 78点

観覧者数 35,117人

印刷物 ポスター(B1, B2, B3)  
チラシ(A4)  
図録(A4変形・112頁)

関連事業 講演会  
期日:平成11年4月24日(土) 会場:講堂  
演題:「日本美術に見る東西交流」  
講師:藤浦正行氏(MOA美術館学芸課長)

期日:平成11年5月1日(土) 会場:講堂  
演題:「桃山の美と茶の湯」  
講師:筒井紘一氏(茶道資料館副館長・今日庵文庫長)

関連記事

西日本新聞(夕刊)	H.11.3.25	MOA美術館名品展「桃山の美・江戸の美」/秀吉の「黄金茶室」復元
西日本新聞(夕刊)	H.11.4.8	桃山・江戸の美 黄金茶室復元も
西日本新聞(朝刊)	H.11.4.18	重文含む名品ぞろい「MOA美術館名品展 桃山の美・江戸の美」
西日本新聞(夕刊)	H.11.4.27	よみがえる日本のルネサンス(上) まだ見ぬ西洋への憧れ
西日本新聞(夕刊)	H.11.4.28	よみがえる日本のルネサンス(中) 「九州一」のお墨付き
西日本新聞(夕刊)	H.11.4.30	よみがえる日本のルネサンス(下) 精巧さの中漂う雅味
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.4	「桃山の美・江戸の美」展が1万人突破
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.4	お茶の精製法や茶道の歴史解説/MOA美術館名品展記念講演会
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.7	MOA美術館名品展 桃山の美・江戸の美一絢爛とわびさびと
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.8	「MOA美術館名品展桃山の美・江戸の美」に寄せて(筒井紘一)
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.10	「桃山の美・江戸の美」—MOA美術館名品展から/ 文化の高さがうかがえ庄巻(福岡銀行会長 後藤豊彦)
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.11	「桃山の美・江戸の美」—MOA美術館名品展から/ 壮大に自然を描いた金碧画(九州産業大学芸術学部教授 松永洋子)
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.12	「桃山の美・江戸の美」—MOA美術館名品展から/ 想像とは違う秀吉の姿知る(はせがわ社長 長谷川裕一)
西日本新聞(朝刊)	H.11.5.12	MOA美術館展2万人突破

福岡市美術館開館20周年記念  
読売新聞西部発刊35周年記念  
ヒューストン美術館展  
ルネサンスからセザンヌ、マチスまで

会期◎平成11年8月28日(土)ー10月3日(日)  
会場◎特別展示室A



会場風景

内容

アメリカ合衆国のテキサス州南東部、ヒューストン市にあるヒューストン美術館の所蔵品約4万点の中から、テンペラ・油彩72点を厳選して紹介。同美術館の作品をアメリカ国外でまとめて公開される初めての機会となった。「ゴシックからルネサンスへ」「バロック」「ロココ」「ロマン主義から20世紀へ」という4つのパートに分けて、14世紀シエナ派の聖母子像から20世紀のモンドリアンまで、西洋絵画600年の流れを伝える作品が展示された。

入場料	一般	1,000円(800円)	( )内は前売、団体(20人以上)、
	高・大生	800円(600円)	シルバー手帳、身体障害者手帳、
	小・中生	500円(300円)	精神障害者保健福祉手帳、
			療育手帳所持者料金。

開催日数 32日

観覧者数 27,371人

出品点数 72点

印刷物  
ポスター(B2, B3)  
チラシ(A4)  
図録(A4変形・220頁)

関連事業  
講演会  
期日:平成11年9月12日(日) 会場:講堂  
演題:「西洋美術への誘い〜ルネサンスを中心に」  
講師:岡田温司氏(京都大学総合人間学部助教授)

主催◎福岡市美術館/読売新聞西部本社/美術館連絡協議会  
ヒューストン美術館/サラ・キャンベル・ブラッファード財団  
後援◎外務省、アメリカ大使館/福岡県教育委員会  
NHK福岡放送局/福岡放送/長崎国際テレビ  
熊本県民テレビ/テレビ大分/山口放送/FM FUKUOKA  
JR九州/西日本鉄道/福岡市文化芸術振興財団  
特別協賛◎味の明太子ふくや  
協賛◎NTTDoCoMo九州/金剛(株)/花王(株)/大成建設  
協力◎日本航空/コンチネンタル航空/ヤマト運輸



ポスターB2

関連記事

読売新聞(朝刊)	H.11.8.17	ヒューストン美術館展1 金魂を遠ざける聖アントニウス(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
読売新聞(朝刊)	H.11.8.18	ヒューストン美術館展2 聖母子(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
読売新聞(朝刊)	H.11.8.19	ヒューストン美術館展3 女予言者に扮した若い女性の肖像(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
読売新聞(朝刊)	H.11.8.20	ヒューストン美術館展4 ヲノとルナ(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
読売新聞(朝刊)	H.11.8.21	ヒューストン美術館展5 花束のある静物(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
読売新聞(朝刊)	H.11.8.27	ヒューストン美術館展あす開幕
読売新聞(朝刊)	H.11.8.29	西洋美術の系譜一目で/入場者珠玉の美に見入る/開幕のヒューストン美術館展
読売新聞(朝刊)	H.11.8.29	ヒューストン美術館展開幕
読売新聞(朝刊)	H.11.8.31	ヒューストン美術館展会場から/色鮮やかな板絵に驚いた(三瀬町一丁原 田中久美子さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.2	ヒューストン美術館展会場から/淡い色のマチスが新鮮(福岡市西区生松台 勝谷由果さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.3	ヒューストン美術館展会場から/圧倒されたルソーの櫻の木(大阪府豊中市本町 吉村武さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.3	ヒューストン美術館展会場から/保存状態の良さに驚き(福岡市南区長丘 瀧口孝子さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.3	ヒューストン美術館展会場から/国際都市づくりの弾みに(福岡市東区唐原 西村宏子さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.4	絵画ファン県内外からーヒューストン美術館展ー
読売新聞(朝刊)	H.11.9.14	ヒューストン美術館展 京大助教授が講演
読売新聞(朝刊)	H.11.9.15	芸術の秋新たな感動/ヨーロッパ絵画600年の流れ
読売新聞(朝刊)	H.11.9.15	展覧会を見て/素晴らしいバロック期の人物画(九州造形短大教授・福岡県美術協会理事長 木戸龍一)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.17	ヒューストン美術館展会場から/絵のタッチじかに見られた(福岡市中央区平尾 松尾陽光さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.18	ヒューストン美術館展会場から/まるで写真、描写力に圧倒(那珂川町片縄 増本美津子さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.18	西洋美術600年の流れ展観/ヒューストン美術館展の見どころ(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.18	入場2万人を突破
読売新聞(朝刊)	H.11.9.22	ヒューストン美術館展会場から/「改悛するマリア」の涙に感動(福岡市東区和白 中村春代さん)
読売新聞(朝刊)	H.11.9.24	名画72点と…芸術の秋の一日/ヒューストン美術館展愛好家らどっと
読売新聞(朝刊)	H.11.10.2	ヒューストン美術館展あすまで

福岡市美術館開館20周年記念・生誕150年  
ラファエル・コラン展

会期◎平成11年10月30日(土)～11月28日(日)  
会場◎特別展示室A



会場風景

内容

19世紀後半から20世紀初頭のフランスで活躍したアカデミスムの画家であるラファエル・コラン(1850～1916)は、黒田清輝をはじめ日本の明治の洋画家の留学中の師としてその名を知られながらも、その画業の子細は明らかにされていなかった。画家の生誕150年、およびコランの《海辺にて》を購入作品第1号とする福岡市美術館の開館20周年を記念した本展は、世界初のコラン回顧展として、この画家の実像に迫ることを試みた。

入場料	一般	1,000円(800円)	( )内は前売、団体(20人以上)、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料金。
	高・大生	800円(600円)	
	小・中生	500円(300円)	

開催日数 26日

観覧者数 40,584人

出品点数 205点

印刷物 ポスター(B1, B2, B3)  
チラシ(A4)  
鑑賞ガイド(B4三つ折)  
図録(A4変形・302頁)

関連事業 講演会

期日:平成11年10月30日(土) 会場:講堂  
演題:「コランと19世紀フランス画壇」  
講師:ブルーノ・フカール氏(パリ第4大学教授)

フォーラム

期日:平成11年11月14日(日) 会場:講堂  
演題:「コランと日本」  
講師:三浦篤氏(東京大学助教授)、三輪英夫氏(九州大学助教授)  
進行:三谷理華(福岡市美術館学芸員)

主催◎福岡市美術館/西日本新聞社/テレビ西日本  
ラファエル・コラン展実行委員会  
後援◎外務省/文化庁/フランス大使館  
福岡市文化芸術振興財団/西日本鉄道  
西日本リビング新聞社/TVQ TXN九州/CROSS FM  
FM FUKUOKA/LOVE FM  
協賛◎富士通株式会社  
協力◎日本航空/九州日仏学館



ポスター-B2

関連記事

西日本新聞(朝刊)	H.11.9.16	生誕150年ラファエル・コラン展 福岡市美術館開館20周年記念
西日本新聞(夕刊)	H.11.10.7	ラファエル・コラン展/日本の近代洋画に貢献/30日から福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.11.10.7	30日に「コラン展」講演会
西日本新聞(夕刊)	H.11.10.25~29	楽園への道 ラファエル・コラン5つの世界1~5
西日本新聞(夕刊)	H.11.10.28	忘れられた画家]再び/ラファエル・コラン展
西日本新聞(朝刊)	H.11.10.29	ラファエル・コラン展で搬入と飾り付け/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.11.10.30	きょうからラファエル・コラン展
西日本新聞(夕刊)	H.11.10.30	優雅な画風にうっとり/コラン展開幕
西日本新聞(朝刊)	H.11.10.31	コランは独創性の高い画家/パリ第四大学のフカール教授が講演/回顧展始まる
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.3	14日にコラン展記念フォーラム/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.5	世界で初めて全貌展示/福岡市美術館 ラファエル・コラン展/日本近代洋画に影響(福岡市博物館学芸員 中山善一郎)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.7	日本美術を変えた近代日本洋画の師/見どころ
西日本スポーツ	H.11.11.9	官能・気品・清純.../女性美にうっとり/「ラファエル・コラン展」福岡市美術館で28日まで
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.12	繊細な作品の味わいを/28日まで「ラファエル・コラン展」
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.13	春秋
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.13	コラン展が1万人突破
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.16	コランと日本テーマ記念フォーラム開く/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.16~18	師のおもかげ ラファエル・コランと日本近代絵画(上・中・下)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.16	鮮やかに光まとい
四国新聞	H.11.11.16	日本近代洋画の原点/温和で折衷的な作品魅力/仏の画家・R・コラン展
南日本新聞	H.11.11.16	黒田清輝の師・R・コラン/福岡で世界初回顧展/28日まで 日本近代洋画の原点
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.17	「コラン展」によせて(ハレリーナ 草刈民代さん)
北日本新聞(夕刊)	H.11.11.17	福岡市で仏画家・R・コラン展/日本の近代洋画に影響
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.18	「コラン展」によせて(ソプラノ歌手 木村 鈴代さん)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.20	コラン展2万人突破
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.20	「コラン展」によせて(ピアニスト 岡本えりさん)
秋田さきがけ	H.11.11.20	ラファエル・コラン展/日本近代洋画の礎に
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.21	「コラン展」によせて(ピアニスト 田中美江さん)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.21	「ラファエル・コラン展」にあと1週間～
長崎新聞	H.11.11.21	日本近代洋画の原点/仏の画家・R・コラン展
河北新報	H.11.11.21	日本近代洋画の原点/繊細な画風人々魅了/仏の画家・R・コラン展
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.22	「コラン展」によせて(バイオリニスト 村田美英さん)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.23	「コラン展」によせて(ビオラ奏者 平野貴敬さん)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.23	ラファエル・コランの典雅なる美/世界初の回顧展にあたって/西洋の理想と日本美の融合(東京大学助教授 三浦篤)
信濃毎日新聞	H.11.11.23	日本近代洋画の原点/仏のR・コラン展
熊本日日新聞	H.11.11.23	日本近代洋画の原点/仏の画家・R・コラン展
西日本新聞(夕刊)	H.11.11.24	初の回顧展 実像に迫る/日本洋画の師ラファエル・コラン(小林清人)
日本経済新聞(夕刊)	H.11.11.25	アプローチ九州文化/秋の特別企画展目白押し/地域密着のテーマ充実(田鍋隆男)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.25~26	「コラン展」鑑賞ガイド(上・中)(福岡市美術館学芸員 三谷理華)
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.26	コラン展に3万人
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.27	「コラン展」鑑賞ガイド(下)(福岡市美術館学芸員 山本香瑞子)
岐阜新聞	H.11.11.27	繊細で美しい画風/コラン回顧展 日本近代洋画の原点
西日本新聞(朝刊)	H.11.11.29	4万人が美を堪能、コラン展開幕
毎日新聞(夕刊)	H.12.6.1	美術/ラファエル・コラン展/借り返す画期的検証(三田晴夫)

月刊美術(平成11年9月号)	日本近代洋画推進の原動力(福岡市美術館学芸員 三谷理華)
ART GRAPH(平成11年9月号)	日本近代絵画の父Raphael Collin
福岡2001(平成11年10月号)	福岡市美術館から全国へ/世界初の展覧会・今秋開催/開館20周年記念生誕150年ラファエル・コラン展(松原玉青)
婦人公論(平成11年10月7日号)	生誕150年/ラファエル・コラン展(土屋典子)
UP(三百二十七号)	「ラファエル・コラン展」ができるまで/日仏美術交流の実例(東京大学助教授 三浦篤)
アートマインドNo.105(平成11年9月号)	生誕150年/10月30日(土)～11月28日(日)ラファエル・コラン展
シティ情報くおNo.499(平成11年10月26日号)	福岡市美術館が総力を挙げた大企画! /コランの全貌に迫る、世界初の回顧展
九州ウォーカー1999 No.23(平成11年11月9日号)	世界初! 黒田清輝の師・コランの回顧展
MILLION12(平成11年12月号)	日本洋画黎明期の師/生誕150年ラファエル・コラン展
美術フォーラム21(2号)	ラファエル・コラン/寓意と外光表現(大手前大学助教授 六人部昭典)
テアルテ第16号	ミュージアム・ミュージアム/ラファエル・コラン (福岡市美術館 三谷理華)
テアルテ第16号	ミュージアム・ミュージアム/「ラファエル・コラン展」に寄せて (石橋美術館 植野健造)
BR10(平成12年7月号)	ART展覧会はおもしろい(イラストレーター 南伸坊)

福岡市美術館開館20周年記念  
FBS福岡放送開局30周年記念  
読売新聞西部発刊35周年記念

会期◎平成12年2月1日(火)～3月23日(木)  
会場◎特別展示室A

クレラー＝ミュラー美術館所蔵 ゴッホ展



会場風景

内容

本展覧会にはオランダのクレラー＝ミュラー美術館から選りすぐったゴッホの作品74点が出品された。暗い色調で働く者を数多く描いたオランダ時代から、印象派の影響を受けたパリ時代、独自の画風を確立するアルル時代を経て、精神を病み、孤独の中で次々と傑作を生み出したサン＝レミ時代、終焉の地オーヴェール＝シュル＝オワーズ時代まで、ゴッホが絵を描いた10年間の軌跡をたどった。

主催◎福岡市美術館/FBS福岡放送/読売新聞西部本社  
後援◎外務省/文化庁/オランダ大使館/福岡市文化芸術振興財団  
長崎国際テレビ/熊本県民テレビ  
鹿児島読売テレビ/テレビ大分/テレビ宮崎  
山口放送/広島テレビ/FM FUKUOKA/JR九州/西日本鉄道  
特別協賛◎ABN AMRO(銀行/証券/投資信託)  
味の明太子ふくや  
協賛◎積水ハウス/キューサイ/鳥飼ハジメグループ  
協力◎日本航空/日本通運  
企画◎NTVヨーロッパ・V.



ポスター-B2

入場料 一般……………1,200円(1,000円) ( )内は前売、団体(20人以上)、  
高・大生……………800円(600円) シルバー手帳、身体障害者手帳、  
小・中生……………500円(300円) 精神障害者保健福祉手帳、  
療育手帳所持者料金。

開催日数 45日

観覧者数 181,331人

出品点数 74点

印刷物 ポスター(B1, B2, B3)  
チラシ(A4)  
鑑賞ガイド(B4三折)(p29参照)  
図録(A4変形・212頁)

関連事業 講演会  
期日:平成12年2月27日(日) 会場:講堂  
演題:「ファン・ゴッホのユートピア」  
講師:園府寺 司氏(大阪大学助教授)

ワークショップ「ゴッホになろう! ?」(p28参照)  
期日:平成12年2月19日(土)

関連記事

読売新聞(朝刊)	H.11.10.14	ゴッホ展/ついに登場 感動の傑作/来年2月1日～福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H.11.12.3	クレラー＝ミュラー美術館所蔵ゴッホ展/前売り券発売
読売新聞(朝刊)	H.12.1.20	ゴッホの絵になった! /福岡で開催中の展覧会/子供たち赤ん坊と母など"熟演" 技法まね模写も
読売新聞(朝刊)	H.12.1.28	クレラー＝ミュラー美術館所蔵ゴッホ展2/自画像/思いの深さゆえ
読売新聞(朝刊)	H.12.1.29	クレラー＝ミュラー美術館所蔵ゴッホ展3/種まく人/「神の言葉」を主題に(福岡市美術館学芸員 柴田勝則)
読売新聞(朝刊)	H.12.1.30	クレラー＝ミュラー美術館所蔵ゴッホ展4/ルーラン夫人/揺れ動く愛と画業(福岡市美術館学芸員 柴田勝則)
読売新聞(朝刊)	H.12.1.30	「種まく人」自画像…続々会場に/ゴッホ展
読売新聞(朝刊)	H.12.1.31	クレラー＝ミュラー美術館所蔵ゴッホ展5/月の昇る夕べの風景/そこに信仰、希望、愛(福岡市美術館学芸員 柴田勝則)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.1	"ゴッホの魂"に見入る/開会、招待客ら「さすが」
読売新聞(朝刊)	H.12.2.1	ゴッホ展の開会式
読売新聞(朝刊)	H.12.2.2	本物のゴッホに驚き/初日から来場者絶えず
読売新聞(朝刊)	H.12.2.3	ゴッホ展会場から/福岡で名作鑑賞に意義(福岡市中央区平尾 浦上雅司さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.9	ゴッホ展会場から/「若い女」に寂しさ見た(福岡市西区生松台 岸本敬二さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.9	ゴッホ展に77施設を招待/「キューサイ」母子寮で贈呈式
読売新聞(朝刊)	H.12.2.12	ゴッホ展会場から/死を選んだ理由透ける(福岡市早良区昭代 清澄由美子さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.16	ゴッホ展会場から/画歴10年と聞いて驚き(福岡市中央区荒戸 石橋次郎さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.17	クレラー＝ミュラー美術館所蔵ゴッホ展/描くことは生きること
読売新聞(朝刊)	H.12.2.20	ゴッホ展5万人突破
読売新聞(朝刊)	H.12.2.21	ゴッホ展会場から/画集と違う本物の感動(福岡市南区筑紫丘 田中公子さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.23	ゴッホ展会場から/才能開花の経過分かる(福岡市中央区梅光園団地 井上和美さん)
読売新聞(夕刊)	H.12.2.23	自画像(地方部 田中正統)
読売新聞(朝刊)	H.12.2.28	「ゴッホと日本」/園府寺・阪大助教授が講演
読売新聞(夕刊)	H.12.3.3	クレラー夫人の遺産/ゴッホ展に寄せて(大阪大学文学研究科助教授 園府寺 司)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.9	ゴッホ展10万人
読売新聞(朝刊)	H.12.3.12	ゴッホの生涯一目で/子供向けパンフ好評
読売新聞(朝刊)	H.12.3.16	ゴッホ展開催あと1週間
読売新聞(朝刊)	H.12.3.17	ゴッホ展会場から/時を越えて訴える情感(北九州市八幡西区紅梅 鶴久聡子さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.18	ゴッホ展会場から/地味でち密新たな発見(福岡市東区香住ヶ丘 西村潤さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.20	「ゴッホ展」入場15万人突破
読売新聞(朝刊)	H.12.3.20	ゴッホ展会場から/住む場所で画風が変化(福岡市東区香椎浜 一丸孝憲さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.21	ゴッホ展会場から/自然描写に満ちる活気(福岡市西区姪浜町 榊孝陽さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.22	ゴッホ展会場から/驚かされた画風の変化(福岡市早良区原 伊藤美代子さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.23	ゴッホ展会場から/激しく繊細人柄画風に(福岡市中央区清川 空閑麻美さん)
読売新聞(朝刊)	H.12.3.23	「ゴッホ展」今日まで
読売新聞(朝刊)	H.12.3.24	ゴッホ展閉幕/入場者18万人越す



第34回福岡市美術展

会期◎平成12年3月28日(火)～4月9日(日)  
 前期:日本画、書、写真、デザイン  
 後期:洋画、彫刻、工芸  
 会場◎特別展示室A・B、  
 市民ギャラリーA・B・C・D



審査風景

主催◎福岡市/福岡市教育委員会/福岡市美術展運営委員会  
 後援◎九州日仏学館/福岡県教育委員会/福岡県美術協会  
 福岡文化連盟/福岡市文化芸術振興財団  
 西日本新聞社/福岡市姉妹都市委員会

内容

美術の各分野における市民の創造性を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に、毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で1,340人(1,616点)の応募があり、内854人(863点)が入選・入賞した。また、姉妹都市フランス・ポルドー市との美術交流の一環として、第33回展入賞作品50点を「アキテーヌ工芸展」において展示した。なお、日仏姉妹都市賞受賞者のポルドー市からの招待に併せて、入選者を対象に募った美術交流団22名を派遣(自費参加)する等、両市民の文化交流並びに友好親善に寄与している。

入場料 一般…………… 300円  
 高・大生…………… 200円  
 小・中生 無料

開催日数 12日

観覧者数 8,057人

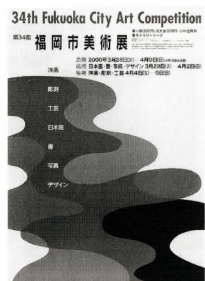
出品点数 897点

印刷物 ポスター(B2・2種)  
 開催要項(B4二つ折)  
 図録(A5変形・47頁)

関連事業 賞・入選発表  
 期日:平成12年3月15日(水)

表彰式  
 期日:平成12年4月1日(土) 会場:講堂  
 各賞:特別賞(日仏姉妹都市賞)1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点  
 福岡市教育委員会賞、福岡県美術協会賞、福岡文化連盟賞、  
 福岡市文化芸術振興財団賞各1点、西日本新聞社賞3点、奨励賞39点

ギャラリートーク  
 期日:前期 平成12年4月2日(日)  
 後期 平成12年4月9日(日)



ポスターB2

出品・入賞・入選状況

部門	出品(応募)		入賞・入選		招待(人・点)	展示点数(点)
	人員(人)	点数(点)	人員(人)	点数(点)		
日本画	52	57	33	33	5	38
洋画	337	451	246	246	4	250
彫刻	37	38	29	30	4	34
工芸	128	159	79	87	4	91
書	388	432	226	226	6	232
写真	267	323	165	165	6	171
デザイン	131	156	76	76	5	81
計	1,340	1,616	854	863	34	897
第33回	1,414	1,705	930	935	37	972

注 招待点数は審査員出品を含む。

関連記事

朝日新聞(朝刊) H.12.3.15 福岡市美術展/最優秀賞に松本さん/28日から市美術館で展示  
 西日本新聞(朝刊) H.12.3.15 最高賞に松本さん(中央区)/福岡市美術展入賞・入選863点決まる  
 読売新聞(朝刊) H.12.3.21 福岡市美術展/最高賞に松本さん(日本画)/入賞・入選決まる28日から展示会  
 西日本新聞(朝刊) H.12.3.29 市民の力作並び/福岡市美術展始まる



日仏姉妹都市賞・福岡市長賞(日本画部門)  
 松本啓子「さくら月夜」

福岡市美術館所蔵名品展

会期◎平成11年10月26日(火)~11月28日(日)  
会場◎近現代美術室、古美術企画展示室、  
松永記念館室



会場風景

観覧料 一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、  
小・中生100円(60円)。  
ただし、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳、又は  
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。  
( )内は団体(20人以上)料金。

内容

開館以来20年の歳月で当館が収蔵してきた作品は、古美術約2,500点、近現代美術約8,000点にのぼる。その中から開館20周年を記念して、当館の活動の独自性を示す名品100点を厳選して「福岡市美術館100選」を制作、(財)福岡市文化芸術振興財団が刊行した。その掲載作品を中心に、近現代美術・古美術の名品展を開催。当館の歴史の中でも、トップクラスの所蔵品が一堂に会するのは初めてのことであり、当館のこれまでの活動と今後の指針を示す展覧会となった。

出品点数 近現代美術50点 古美術50点(参考作品2点)

印刷物 ポスター(B2)  
チラシ(A4) ポスター、チラシともに「西本コレクション展」と兼用  
図録(A4変形・128頁)福岡市文化芸術振興財団発行



ポスターB2

関連記事

西日本新聞(夕刊) H.11.10.21 仁清の茶壺やダリ、ミロの名品100点/26日から福岡市美術館  
読売新聞(朝刊) H.11.11.19 尾形乾山からウォーホルまで/福岡市美術館所蔵名品展

所蔵品図録出版記念  
西本コレクション展

会期◎平成11年10月26日(火)~11月28日(日)  
会場◎企画展示室、日本画工芸室、小作品室



会場風景

観覧料 一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、  
小・中生100円(60円)。  
ただし、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳、又は  
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。  
( )内は団体(20人以上)料金。

内容

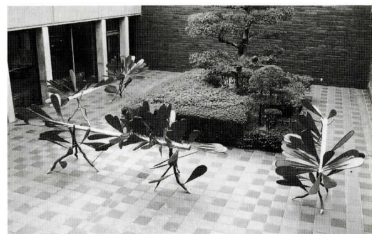
和歌山市在住の西本宏氏より寄贈された作品1,148点の中から63点を選び近現代美術の3室を使用した企画展である。ピエロを描いた「道化者・笑しみと哀しみ」を企画展示室で、底辺に生きる人々の「弱者への愛を祈り」を小作品室で、そして、「女性の美しさややさしさ」を日本画工芸室で行った。  
なお、本展は、「西本コレクション」図録の発刊と寄贈記念展として実施されている。

出品点数 63点

印刷物 ポスター(B2)  
チラシ(A4) ポスター、チラシともに「福岡市美術館所蔵名品展」と兼用  
図録(A4変形・271頁)

第1回21世紀の作家—福岡  
村上勝展 輪郭をこえてゆく、かたち

会期◎平成12年1月5日(水)ー3月26日(日)  
会場◎企画展示室



会場風景

観覧料 一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、  
小・中生100円(60円)。  
ただし、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳、又は  
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。  
( )内は団体(20人以上)料金。

内容

「21世紀の作家—福岡」シリーズは、当館が平成11年度より新しく開始したシリーズ企画展である。福岡市周辺の美術状況の活性化に貢献した、あるいは今後貢献することが期待される作家を個展形式で紹介する。第1回目を飾る作家は村上勝(1947年行橋市生まれ。福岡市在住)。70年代より活動を開始し、福岡・北九州で頻繁に個展を行う一方で、他の作家たちとも交流を進め、数多くのグループ展を開催。福岡の美術状況に活力を与え続けている。本展では、過去20余年に渡る彼の軌跡を振り返りつつ、展示室外では新作インスタレーションを展開。村上の作品の全貌を紹介した。

出品点数 41点

印刷物 ポスター(B2)  
チラシ(A4)  
図録(A4変形・40頁)

関連事業 アーティストトーク  
期日:平成12年1月8日(土) 会場:教養講座室  
タイトル:「自作について」  
講師:村上 勝氏

ギャラリートーク(P28参照)  
期日:平成12年1月22日(水)  
講師:村上 勝氏

関連記事

読売新聞(夕刊)	H.12.1.5	地元へシフトする美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.1.10	21世紀の作家—福岡 村上勝展
西日本新聞(朝刊)	H.12.1.12	羽根が描く開放と凝縮/村上勝個展(塩田)
読売新聞(夕刊)	H.12.1.27	「21世紀の作家—福岡」の第1回展 村上勝展/モダニズムとの決別
西日本新聞(朝刊)	H.12.3.4	メールボックス/現代美術家村上勝さん

てんびょう003号(Spring 2000)	絵画にこだわり、「鍛え合った」軌跡(吉田浩)
月刊はかた vol.134(平成12年1月1日号)	好きな人に聞きたのしいART
シティ情報ふくおか No.506(平成12年2月1日号)	“やっぱり福岡はすごい!”と再確認させる企画と作品
九州ウオーカー 2000 No.7(平成12年3月28日号)	九州アーティストファイル vol.16

珠玉の東南アジア美術展

会期◎平成12年2月1日(火)ー3月26日(日)  
会場◎古美術企画展示室、松永記念館室



会場風景

観覧料 一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、  
小・中生100円(60円)。  
ただし、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳、又は  
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。  
( )内は団体(20人以上)料金。

内容

本展は、東南アジア美術の魅力に魅せられ、永年にわたり幅広い分野の作品を精力的に蒐集してこられた山村道生氏の東南アジア美術のコレクション(唐珍木コレクション)を中心とし、氏と交流のある幾人かの個人収集家の所蔵品の中から、彫刻(石造・青銅造)工芸(陶磁・金工)などを中心に、ベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマー、ラオスなどの国々の美術工芸作品132件を精選し、一般に紹介した。

出品点数 132件 266点

印刷物 ポスター(B2)  
チラシ(A4)  
図録(A4変形・128頁)

関連事業 講演会  
期日:平成12年2月20日(日) 会場:教養講座室  
演題:「クメール美術とカンボジア国立博物館」  
講師:ハップ・トゥーイ氏(カンボジア国立博物館副館長)

関連記事

西日本新聞(朝刊)	H.12.2.17	文化短信/「珠玉の東南アジア美術展」記念講演会
毎日新聞(朝刊)	H.12.2.17	珠玉の東南アジア美術



ポスター-B2









アートアドベンチャー

子どもたちと美術とのよりよい出会いの場を提供することを目的に、当館では平成9年度より「アートアドベンチャー」事業を展開している。これは、市内の小・中学校を中心とした学校と連携し、児童・生徒たちが美術館を利用できる機会を増やすとともに、子どもたちに、より深く美術を味わってもらおうというもの。現在のところ、美術館近郊の小・中学校を対象に、ワークショップやギャラリートークを行っている。

市内小・中学校を対象としたギャラリートーク

教師との事前打ち合わせに則して、解説ボランティアによるギャラリートークを行った。平成11年度は約20校を対象に行った。

21世紀の作家—福岡 村上勝展ギャラリートーク

実施日時 平成12年3月22日(水) 16:00過ぎ～17:30  
 参加者 舞鶴中学校1～3年生 11名  
 ギャラリートーク講師 村上 勝氏  
 学芸課スタッフ 山口洋三、渡辺雄二、鬼本佳代子

内容:近現代美術企画展として展示した村上勝氏の作品を、作家自ら中学生たちとともに語る、というもの。作家本人と語ることで、中学生たちに作品へのより深い鑑賞を促すことができた。



村上勝氏(左)と話す生徒たち

ワークショップ「ゴッホになろう!」

実施日時 平成12年2月19日(土)9:20～11:40  
 参加者 赤坂小学校4年生 56名  
 学芸課スタッフ 渡辺雄二、鬼本佳代子、平川フジ子、中原千代子  
 ボランティアスタッフ 未吉ヤツエ、青野恭子、小石原聡子、高木基子  
 知足久美子、甲斐美知子、仲上文子、川島千恵子  
 高尾麗子、池田富子、兼頭啓子、岡野民技  
 杉山あけみ、山本美智子、角 泉子  
 他 解説ボランティア

内容:「ゴッホになろう」と「ゴッホの絵になろう」という2つのワークショップを、赤坂小学校の協力で、特別企画展「ゴッホ展」に合わせて開催。ゴッホの作品を鑑賞し、前者では、いわゆる「ゴッホらしい」といわれるバリ時代以降の油彩画の色彩、および描法を体験的に理解してもらったため、ゴッホ作品を参考に作品を制作し、後者では、ゴッホ作品の中の人物になることによって、その人物の気持ち、ひいてはその作品に反映されるゴッホ自身の意図を、子どもたちに体験的に理解してもらおうことを目的とした。

「ゴッホになろう」

対象作品 《種まく人》《自画像》《月の昇る夕べの風景》  
 《公園の若草》

経過 上記の作品のアウトラインを描いた画用紙(A1程度)を2組ずつ用意。割り箸の先に綿花をくるんだガーゼをくくりつけたスタンプを用意。子ども一人につきスタンプ1本1色を担当し、アウトラインをもとに点描で作品を作った。

「ゴッホの絵になろう」

対象作品 《石炭袋を運ぶ女たち》《ジャガイモを食べる人々》  
 《祈る女》《箒を持つ男》《縫い物をする人》  
 《右腕に子どもを抱くシーン》《パイプをくわえた老漁師》  
 《パイプをくわえた農夫》《スワウ兵ミリエ》  
 《郵便配達人ルーラン》《ルーラン夫人》《若い女》

経過 身近な道具を使ってゴッホの絵の中の人物になってみる。なった姿を写真に写し、その人の気持ちになって感想を書いた。



「ゴッホになろう」



「ゴッホの絵になろう」

夏休み子ども美術館'99「はてな? ～よく見て感じよう～」

平成2年から始まった、夏休み期間中の子どものためのシリーズ展覧会。子どもたちに鑑賞のきっかけとして、作品に対して何か疑問を持ってもらおうということでテーマを「はてな? ～よく見て感じよう～」とした。近現代美術作品の中から疑問を生じやすいと思われるスーパーリアリズムおよび抽象作品を展示。また、子どもたちに集中して鑑賞してもらえるように、この年度は展示室を企画展示室のみに限定した。

会期 平成11年7月13日(火)～8月29日(日)  
 会場 企画展示室  
 展示作品 フランク・ステラ《バスラ門(分度器シリーズ)》  
 ジョゼフ・アルパース《正方形に挿す"森の静寂"》  
 吉原 治良《白い円》  
 嶋本 昭三《作品》  
 リサ・ミルロイ《靴》  
 上田 薫《アイスクリームB》  
 金昌烈《水滴》  
 ボイル・ファミリー《福岡県、日本シリーズより、深紅の敷石、コンクリートのふち石、金属板、黄色い駐車違反の標識のある研究》

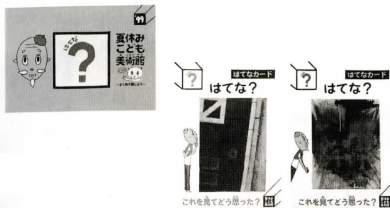


会場風景

ガイドブック等

小学校低学年向けカード—「はてな?」カード(A6 2種)  
 小学校中学年以上ガイド—「はてな?」ガイド(A5・20頁)

夏休み子ども美術館の作品鑑賞の補助として、小学校低学年向けに「はてな?」カードを、小学校中学年以上向けに「はてな?」ガイドを制作し、無料配布した。カード及びガイドには、子どもたちが親しみをもってもらえるように、キャラクター「美術館蔵いさん」を登場させた。



ギャラリートーク

実施日時 平成11年7月24日(土)、7月31日(土)  
 8月21日(土)  
 いずれも14:00～約1時間(美術館探検30分、作品鑑賞30分)

参加者 7月24日(土) 小学校1年生～中学校1年生 13名  
 7月31日(土) 小学校2年生～6年生 11名  
 8月21日(土) 小学校1年生～6年生 13名  
 ギャラリートーク講師 福岡市美術館教育担当学芸員 鬼本佳代子  
 学芸課スタッフ 渡辺雄二、平川フジ子、中原千代子、山口洋三  
 実習生 徳永恵太、池松由理(7月24日、31日)  
 田辺 舞(7月24日、31日、8月21日)

内容:ギャラリートークに入る前に、子どもたちをリラックスさせ、かつ美術館を知ってもらうために、格納庫や焼窯庫などを「探検」した。その後夏休み子ども美術館'99「はてな? ～よく見て感じよう～」会場作品を鑑賞。作品鑑賞は、講師と参加者が作品について会話をする形式で行った。



ギャラリートーク風景

夏休み子ども美術館教室'99 ワークショップ「布を染めよう」

実施日時 平成11年8月6日(金)～8月8日(日)  
 10:00～16:00  
 参加者 小学校4年生～中学生 15名  
 ろうけつ染め講師 染織家 伊藤 俊氏  
 パティック着付け講師 アントニウス・ウイドヤトモコ、ハリ・スザナ夫妻  
 ギャラリートーク講師 福岡市美術館学芸員 都築悦子  
 学芸課スタッフ 鬼本佳代子  
 ボランティアスタッフ 河合洋子、佐藤政子、内海照代、山崎伸代

内容:常設展示「インドネシアの染織—パティック」にあわせて、ろうけつ染めのワークショップ。展示された作品を鑑賞し、ろうけつ染めなどの技法を体験し、さらにパティックを実際に身につけてみることで、パティックとそれを生み出したインドネシアの文化への理解を深めてもらうというもの。



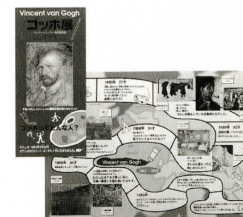
完成作品と子供たち

経過 8月6日(金) ハンカチ大の布をろうけつ染めで染める。  
 8月7日(土) ジャングルをテーマに、1×2メートル大の布を、グループに分かれて染める。  
 8月8日(日) 午前中に前日に染めた布を蠟抜きし、干す。干している間に常設展示のパティックを鑑賞。  
 都築学芸員が解説を行う。  
 午後アントニウス・ウイドヤトモコ、ハリ・スザナ夫妻によって、子どもたちに現代のパティックを着付けてもらう。

ゴッホ展ガイド

「ゴッホってどんな人?」(B4三折折り)

ゴッホ展の鑑賞補助として、ゴッホの生涯についてわかりやすく示したワークシートを制作した。





講演会

日本美術に見る東西交流 (MOA美術館展関連)

日時=平成11年4月24日(土)14:00~15:30 会場=講堂  
 講師=MOA美術館学芸課長 藤浦正行氏  
 聴講者数=210人

桃山の美と茶の湯 (MOA美術館展関連)

日時=平成11年5月1日(土)14:20~15:50 会場=講堂  
 講師=茶道資料館副館長 今川文庫長 筒井純一氏  
 聴講者数=230人

西洋美術への誘い~ルネサンスを中心に(ヒューストン美術館展関連)

日時=平成11年9月12日(日)14:00~16:00 会場=講堂  
 講師=京都大学総合人間学部助教授 岡田温司氏  
 聴講者数=200人

コランと19世紀フランス画壇(ラファエル・コラン展関連)

日時=平成11年10月30日(土)14:00~15:40 会場=講堂  
 講師=パリ第4大学教授 プルノ・フカール氏  
 (通訳:東京大学助教授 三浦 篤氏)  
 聴講者数=150人

21世紀への視点~愛と美と芸術(開館20周年記念講演会)

日時=平成11年11月6日(土)14:00~15:30 会場=講堂  
 講師=東京大学名誉教授 今道友信氏  
 聴講者数=132人

コランと日本(ラファエル・コラン展関連)

日時=平成11年11月14日(日)14:00~16:20 会場=講堂  
 講師=東京大学助教授 三浦 篤氏  
 九州大学助教授 三輪英夫氏  
 進行=福岡市美術館学芸員 三谷理華  
 聴講者数=200人

自作について(第1回21世紀の作家~福岡村上勝展関連)

日時=平成11年1月8日(土)14:00~15:30 会場=教養講座室  
 講師=村上 勝氏  
 聴講者数=70人

クメール美術とカンボジア国立博物館(珠玉の東南アジア美術展関連)

日時=平成12年2月20日(日)14:00~16:00 会場=教養講座室  
 講師=カンボジア国立博物館副館長 ハップトゥーイ氏  
 聴講者数=75人

ファン・ゴッホのユートピア(ゴッホ展関連)

日時=平成12年2月27日(日)14:00~16:00 会場=講堂  
 講師=大阪大学助教授 園府寺 司氏  
 聴講者数=220人



開館20周年記念講演会



ラファエル・コラン展講演会

所蔵品によるアートセミナー 第2回

「仏像に親しむ」

講師 —— 別府大学教授 八尋和泉氏  
 日程 —— 平成12年2月12日(土)・19日(土)・26日(土)  
 3月4日(土)・11日(土)  
 13:00~14:30  
 受講生 —— 50名(福岡市に在住あるいは勤務する方)

内容:福岡市美術館に常設展示している薬王密寺東光院(寺跡は福岡市博多区吉塚3丁目)旧蔵の仏像を実際に見て、仏像をさまざまな角度から鑑賞することを講義。ビデオや展示室での解説を交え、受講生の感想や意見をとり入れながら進められた。主な内容は次の通り。

- ・仏像の名称とその意味。
- ・仏像の構造や材質。
- ・制作した仏師、あるいは修理した仏師。
- ・仏像の時代様式。
- ・仏像の修理。
- ・九州の仏像、東光院の地誌の説明。



アトリエ'99

版画教室「自分の顔でアートしよう」

講師 —— 美術家 片山 武氏  
 日程 —— 平成11年12月8日(水)~12月10日(金)  
 13:00~16:00  
 受講生 —— 15名

内容:地元作家である片山氏を招き、講座を行った。自分の顔写真をプリントごっこなどの製版印刷機で版に焼き付け、シルクスクリーンの要領で版画をつくり、さらに水彩絵の具などで彩色するという作品を作った。また、プリンティングの技法も学んだ。



作品とともに

博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習について、各大学からの依頼により、実習希望の学生を受け入れ、平成11年6月1日から11月30日の期間に必要な日数の実習を行った。

実習生名

■ 西南学院大学

実習日数 10日間  
 小島ひろみ 文学部外国語学科フランス語専攻  
 竹本明日香 文学部国際文化学科  
 永田道子 文学部国際文化学科

■ 福岡大学

実習日数 10日間  
 木下直子 文学部文化学科  
 山脇清一 文学部文化学科

■ 九州産業大学

実習日数 10日間  
 下条貴子 芸術学部芸術学科  
 田辺 舞 芸術学部芸術学科  
 中村由紀子 芸術学部芸術学科

■ 北九州大学

実習日数 5日間  
 徳永恵太 文学部比較文化学科

■ 愛知県立芸術大学

実習日数 5日間  
 池松由理 芸術学部・油絵科

ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では、図書、資料、解説という3つのセクションに分かれ、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。

ボランティア全体活動

6月30日(水) ボランティア総会  
 7月11日(月) 「みんなの福岡」ボランティア活動TV取材(7月23日(金)放映)  
 12月14日(火) ボランティアの研修のため、講演会を行う。  
 講演「障害を有する人とともに」  
 講師 福岡市障害者関係団体協議会事務局 次長 石松周氏



解説ボランティア活動記録

解説ボランティア活動は、当館の常設展示を来館者の方々に解説することを目的に、昭和59年に始まった。現在は、一般の来館者のみならず、美術の授業などで訪れた小・中学生へのギャラリートークにも力をいれている。また、学芸員が計画したワークショップの補助を行うなど活動の幅も広がってきている。

平成11年

5月	1日(土)	福岡教育大学附属福岡小学校 6年生	83人	引率 2人
	19日(水)	五十巾中学校	213人	引率 15人
	20日(木)	特別養護老人ホーム油山緑寿園ティサービスセンター	約30人	
	21日(金)	特別養護老人ホーム油山緑寿園ティサービスセンター	約30人	
	25日(火)	特別養護老人ホーム油山緑寿園ティサービスセンター	約30人	
	26日(水)	特別養護老人ホーム油山緑寿園ティサービスセンター	約30人	
		人吉私立第三中学校	34人	
6月	3日(木)	長崎県大村ろう学校	9人	引率 4人
	10日(木)	解説ボランティア部会		
	17日(木)	福岡市立赤坂幼稚園 5歳児	35人	引率 2人
	18日(金)	福岡市立鶴田小学校 6年生	79人	引率 4人
	22日(火)	福岡雙葉小学校 6年生	83人	引率 3人
7月	6日(火)	花鶴ヶ丘小学校		
9月	3日(金)	福岡市立玄海中学校	50人	引率 12人
	7日(火)	福岡市立南片江小学校 4年生ほか	105人	引率 6人
		正法寺ルンビニ幼稚園	50人	引率 3人
	8日(水)	正法寺ルンビニ幼稚園	50人	引率 3人
	15日(水)	下妻小学校PTA視察	30人	
	18日(土)	福岡市立赤坂小学校 3年生	49人	
	19日(日)	カルチャーセンター 殿山館	40人	
	24日(金)	三田川長寿大学	112人	
	30日(木)	福岡市立野芥小学校 5年生	110人	引率 4人
10月	5日(火)	舞鶴小学校 1年生	37人	引率 7人
		福岡市立板付北小学校 2年生	97人	引率 4人
	19日(火)	国家公務員共済組合連合会理事長一行	4人	
	20日(水)	小竹筒小学校家庭教育学級	20人	
	26日(火)	市長室広聴聴施設見学会	50人	
	27日(水)	武雄中学校PTA	35人	
11月	2日(火)	福岡市立西戸崎小学校 5年生	60人	引率 3人
	17日(水)	鞍手郡若宮小学校 6年生	61人	引率 4人
	26日(金)	福岡雙葉小学校 5年生	119人	引率 4人
12月	1日(水)	福岡市立那珂小学校障害児学級 1~6年生	11人	引率 3人

平成12年

2月 2日(水)	大和市立有明小学校 6年生	20人	引率 2人
4日(金)	筑紫野市山口小学校 5年生	58人	引率 3人
9日(水)	山田小学校	59人	引率 2人
16日(水)	筑紫野市山家小学校 5年生	30人	引率 2人
19日(土)	福岡市立福岡中学校 1年生	44人	引率 6人
	ワークショップ「ゴッホになろう!」補助		
23日(水)	友和会(老同団地老人クラブ)	21人	
3月 3日(金)	那珂川町南畑小学校 6年生	37人	引率 3人
9日(木)	南当仁小学校 6年生	91人	引率 3人
10日(金)	文徳中学校 1～3年生	44人	引率 5人
14日(火)	ももち福祉プラザ	23人	
18日(土)	南当仁小学校 5年生	94人	引率 3人

新聞ボランティア活動記録

作業日…基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞切り抜き作業を行う。

月曜日:毎日新聞  
火曜日:読売新聞  
水曜日:西日本新聞  
木曜日:朝日新聞  
土曜日:日本経済新聞

月1回共同作業日进行、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。  
また、展覧会や美術に関するビデオの鑑賞会を行う。



平成11年

4月 6日(火)	アジア・トリエンナーレ展(福岡アジア美術館)見学会および懇親会	参加20名
5月 11日(火)	共同作業 計報欄の整理ほか	参加7名
6月 1日(火)	共同作業 記事の取捨選択についての勉強会ほか	参加7名
30日(水)	ボランティア総会ののち新聞ボランティア分科会	
	20周年事業の話し合い・都築悦子学芸員染織シンポジウム参加報告	参加10名
7月 6日(火)	1991年記事の整理	
	20周年事業について…新聞記事の読書室での開架・計報欄のデータベース化を目標とすることを決定	参加9名
8月 3日(火)	共同作業 記事の取捨選択についての検討会	参加13名
9月 1日(火)～15日(木)	物故作家(計報欄)のコンピュータによる索引データベース作成	
7日(火)	共同作業 朝日新聞ファイル作業	参加8名
10月 5日(火)	共同作業 1～9月分大型記事の整理	参加11名
22日(金)	共同作業 11月の20周年に向けて開架用ファイルの完成	参加13名
26日(火)	読書室にて新聞切り抜きファイル(一般美術記事)開架開始。以後、月毎に新規ファイルと入れ替え。	
11月 30日(火)	共同作業 1991年記事の整理	参加7名

平成12年

2月 7日(月)	共同作業 未整理分記事の取捨選択	参加13名
3月 6日(月)	共同作業 「ボランティア通信」についての話し合い	
29日(水)	長崎県立美術館学芸員の当館のボランティア活動見学	

図書ボランティア活動記録

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後との班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行う。

1. 当館所蔵作品及び当館施設案内記事の掲載誌整理作業  
当館所蔵雑誌の一部から、当館の所蔵作品及び施設についての記事を探し、索引作りを行う。
2. 目録カード整理作業  
・標目記載  
・アジア美術館に移管した資料の目録カードが不要になったため、カードケースから抜く
3. 図書部会開催  
・期日:平成11年6月30日(水)  
・会場:教養講座室  
・参加者数:9名  
・内容:当館所蔵作品及び当館施設案内記事掲載誌整理作業手順の説明  
意見交換など



読書室企画

読書室の一角に当館主催の展覧会に関する資料の特集などを行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるような、資料を通しての普及啓蒙活動を行う。

1. 常設展関連図書特集  
・常設展示室での各展示関連
2. 特別展関連図書特集  
・平成11年4月20日(火)～5月16日(日) MOA美術館展関連  
・平成11年8月24日(火)～10月3日(日) ヒューストン美術館展関連  
・平成11年10月26日(火)～11月28日(日) ラファエル・コラン展関連  
・平成12年1月25日(火)～3月23日(木) ゴッホ展関連
3. 読書室企画図書特集  
・平成11年7月13日(火)～8月29日(日) 夏休みこどもとじよかん  
・平成12年2月16日(水)～3月31日(金) 観覧者数ベスト20の展覧会の図録特集  
(観覧者 1,500万人突破記念)

講堂

主催事業

講演会名	期日	講師	聴講者数(人)
日本美術に見る東西交流 (MOA美術館展関連)	平成11年4月24日(土)	MOA美術館学芸課長 藤浦正行	210
桃山的美と茶の湯 (MOA美術館展関連)	平成11年5月1日(土)	茶道資料館副館長・今日庵文庫長 筒井絢一	230
西洋美術への誘い—ルネサンスを中心に (ヒューストン美術館展関連)	平成11年9月12日(日)	京都大学総合人間学部助教授 岡田温司	200
コロンと19世紀フランス画壇 (ラファエルコロン展関連)	平成11年10月30日(土)	パリ第4大学教授 ブルノ・フカール 通訳:東京大学助教授 三浦 篤	150
21世紀への視点—愛と美と芸術 (開館20周年記念講演会)	平成11年11月6日(土)	東京大学名誉教授 今道友信	132
コロンと日本 (ラファエルコロン展関連)	平成11年11月14日(日)	東京大学助教授 三浦 篤 九州大学助教授 三輪英夫 進行:福岡市美術館学芸員 三谷理華	200
ファンゴッホのユートピア (ゴッホ展関連)	平成12年2月27日(日)	大阪大学助教授 園府寺 司	220

(講師敬称略)

貸館事業

講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
明晰の美と混濁の美 現代の絵画 (第17回上野の森美術館大賞 九州展関連)	平成11年6月1日(火)	九州造形短期大学学長 谷口治達 日展評議員 日野耕之祐	(財)日本美術協会 上野の森美術館	75
エジプト文化紹介 (古代エジプト展関連)	平成11年7月20日(火)		RKB毎日放送 エジプト人留学生	160
JPSスライド&トークショー	平成11年9月26日(日)		JPS	240
第15回城南地区市民アート展表彰式	平成11年11月7日(日)		ふれあい城南運営委員会 城南区役所	80
福岡大学映画研究部第5回特別上映会	平成11年11月21日(日)		福岡大学学術文化部 映画研究部	55
福岡シネマクラブフェスティバル"FILMOVIE"	平成11年11月27日(土) 11月28日(日)		福岡シネマクラブ フェスティバル	86 58
FCC公開審査会 (教養講座室も使用)	平成11年12月4日(土)		福岡コピーライタースクラブ	100
第20回西日本書道美術公券展表彰式	平成11年12月26日(日)		西日本新聞社 西日本書美術協会 テレビ西日本	180
福岡市美術連盟講演会	平成12年1月9日(日)	会長 四島 司	福岡市美術連盟	240
福岡市書道協会総会講演会「王献之について」	平成12年3月5日(日)	白川青巖	福岡市書道協会	240
トヨタエイブルアート・フォーラム	平成12年3月12日(日)		トヨタ自動車 日本障害者芸術文化協会 エイブルアート・フォーラム福岡実行委員会	200
九州産業大学自主制作上映会シネマ☆スター	平成12年3月26日(日)		小池俊成	58

その他総会等 2件

(講師敬称略)

教養講座室

主催事業

講座・講演会名	期日	講師	聴講者数(人)
夏休み子ども美術教室ワークショップ	平成11年8月6日(金)	ろうけつ染め 染織家 伊藤 俊	15
「布を染めよう」 (実技講座室も使用)	8月7日(土) 8月8日(日)	着付け アントニウス・ウイドヤトモコ、ハリ・スザナ夫妻 ギャラリートーク 福岡市美術館学芸員 都築悦子	15 15
アトリエ'99版画教室	平成11年12月8日(水)	美術家 片山 武	14
「自分の顔でアートしよう」 (実技講座室も使用)	12月9日(木) 12月10日(金)		14 14
自作について (第1回21世紀の作家—福岡村上勝展関連)	平成11年1月8日(土)	村上 勝	70
所蔵品によるアートセミナー第2回 「仏像に親しむ」	平成12年2月12日(土) 2月19日(土) 2月26日(土) 3月4日(土) 3月11日(土)	別府大学教授 八尋和泉	45 41 42 35 37
クメール美術とカンボジア国立博物館 (珠玉の東南アジア美術展関連)	平成12年2月20日(日)	カンボジア国立博物館副館長 ハップトゥーイ	75

(講師敬称略)

貸館事業

講座・講演会名	期日	主催	聴講者数(人)
アジア映画講座	平成11年4月25日(日) 5月23日(日)	オフィス・ヌーヴェルヴァーグ	54 23
太平洋美術会西日本支部表彰式	平成11年6月29日(火)	太平洋美術会西日本支部	45
古代エジプト展鑑賞会	平成11年7月20日(火)	花合歓会	12
パステル画のおもしろさ	平成11年10月29日(金)	森 徹志	85
野点茶会(第34回各流合同茶会)	平成11年11月3日(水)	福岡茶道文化連盟	900
美術館鑑賞授業	平成11年11月5日(金) 11月10日(水) 11月11日(木) 11月19日(金) 11月24日(水) 11月25日(木)	福岡市立舞鶴中学校	30 30 28 30 28 29
第20回中央区市民文化祭「美術作品展」表彰式	平成12年2月22日(火) 2月24日(木)		34 72
第20回中央区市民文化祭「美術作品展」表彰式	平成11年11月21日(日)	中央区市民の祭り運営委員会	50
FMFシネマテークNo.101 OPEN FILM/VIDEO BOX VOL.14	平成11年11月28日(日)	フィルム・メーカーズ・フィールド	41
シダックスフードサービスゴッホを見る会	平成12年3月22日(水)	中村さゆり	10

その他研究会等 34件

実技講座室

主催事業

講座名	期日	参加者数(人)
アートアドベンチャー ワークショップ「ゴッホになろう!？」	平成12年2月19日(土)	56

貸館事業

講座名	期日	主催	参加者数(人)
野焼き作陶会	平成11年4月10日(土)	能古楽居窯	20
日洋会	平成11年4月17日(土)	日洋会	14
テッサン学習会	平成11年4月18日(日)	武蔵美福岡学習会	10
	5月23日(日)		20
	6月27日(日)		15
	7月11日(日)		10
	10月17日(日)		15
	11月21日(日)		10
	12月5日(日)		10
	平成12年1月16日(日)		10
	2月20日(日)		20
	3月19日(日)		20
創元会作品研究会	平成11年5月16日(日)	創元会	38
	12月19日(日)		47
	平成12年1月9日(日)		46
	3月12日(日)		46
福岡市小学校図画工作研究会定例会	平成11年6月19日(土)	福岡市小学校図画工作研究会	35
	平成12年2月5日(土)		50
福岡市中学校美術教育研究会会員研修	平成11年7月7日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	31
JINの会野焼きのための作陶会	平成11年7月18日(日)	JINの会	70
日洋会研究会	平成11年8月29日(日)	日洋会福岡	15
形彩会研究会	平成11年12月12日(日)	形彩会	20
	平成12年1月15日(金)		15
バステル画講習会	平成12年3月30日(木)	森徹志	15

版画印刷工房

貸館事業

講座名	期日	参加者数(人)	期日	参加者数(人)	期日	参加者数(人)	主催
北九州版画教室	平成11年4月11日(日)	3	8月8日(日)	2	12月26日(日)	3	北九州版画教室
	4月25日(日)	1	8月22日(日)	1	平成12年1月9日(日)	3	
	5月9日(日)	2	9月12日(日)	2	1月30日(日)	2	
	5月23日(日)	2	10月3日(日)	2	2月13日(日)	3	
	6月4日(金)	2	10月24日(日)	3	2月27日(日)	3	
	6月13日(日)	3	11月3日(水)	3	3月12日(日)	3	
	6月27日(日)	2	11月23日(火)	3			
	7月11日(日)	2	12月5日(日)	3			
朝日カルチャー	平成11年6月8日(火)	10	11月30日(火)	1	12月2日(木)	2	森 信也
	9月21日(火)	10	12月1日(水)	2	12月3日(金)	2	
城南フレンドホーム夏休み創作教室	平成11年8月25日(水)	2					豊田康子
さざんかの会	平成11年12月7日(火)	2					原 小夜

読書室利用者数一覧

月	月総数(人)	一日平均(人)	開館日数(日)	年累計(人)	総累計(人)
4	842	32	26	842	298,267
5	955	36	26	1,797	299,222
6	614	23	26	2,411	299,836
7	906	33	27	3,317	300,742
8	1,420	54	26	4,737	302,162
9	820	31	26	5,557	302,982
10	623	23	27	6,180	303,605
11	752	30	25	6,932	304,357
12	321	13	23	7,253	304,678
1	420	18	23	7,673	305,098
2	1,299	51	25	8,972	306,397
3	1,207	44	27	10,179	307,604
年総数	10,179	33	307		

小数点以下切捨

図録

図録名	規格	頁数	編集・発行
MOA美術館名品展「桃山の美・江戸の美」	A4変形	112	MOA美術館編集・MOA美術館名品展実行委員会発行
ヒューストン美術館展	A4変形	220	ヒューストン美術館、サラ・キャンベル・ブラッファード財団 愛媛県美術館編集・愛媛県美術館、千葉県立美術館、三重県立美術館 福岡市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会発行
ラファエル・コラン展	A4変形	302	福岡市美術館編集・西日本新聞社発行
第34回福岡市美術館展	A5変形	47	福岡市美術館運営委員会編集・発行
福岡市美術館100選	A4変形	128	福岡市美術館編集・福岡市文化芸術振興財団発行
西本コレクション	A4変形	271	福岡市美術館編集・発行
21世紀の作家—福岡 村上勝展	A4変形	40	福岡市美術館編集・発行
珠玉の東南アジア美術展	A4変形	128	福岡市美術館編集・発行

常設展リーフレット

小作品室リーフレット

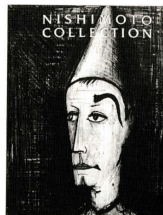
No.	展覧会名	規格	頁数
197	小川幸一展	A4変形	4
198	岡田三郎助の素描	A4変形	4
199	小さきものたち—掌編絵画の展覧会	A4変形	4
200	ソル・ルウイット「スター・シリーズ」	A4変形	4
201	小作品リーフレット200号記念展	A4変形	4
202	中林忠良展	A4変形	4
203	小野忠重展	A4変形	4

古美術リーフレット

No.	展覧会名	会場	規格	頁数
121	和歌と物語	古美術企画展示室	A4変形	2
122	漆の美	古美術企画展示室	A4変形	2
123	仙厓展 仙厓の画歴—諸国遊歴—	古美術企画展示室	A4変形	2
124	インドネシアの染織—パティック	古美術企画展示室	A4変形	2
125	スコータイとサワンカロック/インドシナ半島の陶磁	古美術企画展示室	A4変形	2
126	文芸と美術	古美術企画展示室	A4変形	2
127	黒田資料名品展	古美術企画展示室	A4変形	2



「福岡市美術館100選」



「西本コレクション」

美術館ニュース エスプラナード

No.	発行日	内容	規格	頁数
110	H.11.5.15	開館20周年記念特集号Part-1「90年代の福岡市美術館」/報告シンポジウム「こどもたちと美術館のいま」/90年代の福岡市美術館をふりかえる/所蔵品紹介(212)堂本尚郎「連鎖反応(赤、黄、青)」/所蔵品紹介(213)「色絵花鳥文瓢形瓶」/学芸員の…リアル/ライフ/展覧会案内/編集後記/インフォメーション	A4変形	8
111	H.11.7.15	特集1. 夏休みこども美術館'99「はてな?~よく見て感じよう~」/特集2. ヒューストン美術館展/所蔵品紹介(214)阿部展也「アダムとイヴNo.2」/所蔵品紹介(215)伝・周文「山水図」/素朴なギモン/展覧会案内/編集後記/インフォメーション	A4変形	8
112	H.11.9.15	開館20周年記念特集 パート2 ラファエル・コラン展/福岡市美術館所蔵名品展/「自分さがし」の西本コレクション展/お知らせ[エスプラナードが変わります!?!]/開館記念講演会参加者募集のお知らせ/展覧会案内/編集後記/インフォメーション	A4変形	8
113	H.11.11.15	開館20周年記念特集 パート3 美術館の内外で当館の活動を見守り、支えてきてくださった方々の声をアンケートに答えてもらうという形式で掲載。アンケート内容 1.過去20年間で最も印象に残る 展覧会を一つ挙げて下さい。2.気に入っている所蔵作品を一つ挙げて下さい。3.過去と現在をくらべて福岡市美術館はどう変わりましたか? 4.今後福岡市美術館に望むことはなんですか? /アトリエ'99受講者募集/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
114	H.12.1.15	特集1. 開館20周年記念特別企画展 クレラー=ミューラー美術館所蔵ゴッホ展/特集2. 珠玉の東南アジア美術/特集3. 第1回21世紀の作家—福岡 村上勝展/特集ラファエル・コラン展フォーラム「コランと日本」/所蔵品紹介(216)村山槐多「自画像」/所蔵品紹介(217)「龍折枝文様縁糸壁掛」/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
115	H.12.3.15	特集1. 日本の美—笑い/特集2. 2000年度 福岡市美術館展覧会スケジュール/報告—21世紀の作家—福岡 村上勝展 アーティスト・トーク/所蔵品紹介(218)セルジウ・ボリアコフ「赤と黒のフォルム」/所蔵品紹介(219)「辻が花染九條袷袋」/エスプラナード購読者募集/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8



110号



113号

■平成11年

4月16日(金)―4月18日(日)	MOA美術館展調査のため尾崎直人学芸員、京都・熱海市へ出張。
4月26日(月)―4月28日(水)	購入候補作品調査のため山口洋三学芸員、東京・埼玉へ出張。
5月12日(水)―5月14日(金)	狩野永徳展調査のため渡辺雄二学芸員、東京・米沢市へ出張。
5月12日(水)―5月15日(土)	古美術企画展調査のため尾崎直人学芸員、別府市へ出張。
5月20日(木)―5月22日(土)	作品等調査のため山口洋三学芸員、大阪・京都へ出張。
5月28日(金)―5月30日(日)	水晶の塔をさがして展作家作品調査のため山口洋三学芸員、東京へ出張。
6月5日(土)	子供と楽しむ人物画展講演会参加及び展覧会視察のため鬼本佳代子学芸員、大分市へ出張。
6月3日(木)―6月5日(土)	調査のため渡辺雄二学芸員、東京へ出張。
6月6日(日)―6月12日(土)	松永耳庵コレクション調査のため尾崎直人学芸員、東京へ出張。
6月14日(月)―6月18日(金)	珠玉の東南アジア美術展調査のため尾崎直人学芸員、別府市へ出張。
6月22日(火)―6月27日(日)	ループル美術館展調査・ラファエル・コラン展調査のため安永幸一 副館長、パリへ出張。
6月23日(水)―6月25日(金)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、大阪・京都・奈良・神戸市へ出張。
7月6日(火)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、佐賀市へ出張。
7月14日(水)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、北九州市へ出張。
7月28日(水)―7月30日(金)	水晶の塔をさがして展作家作品調査のため山口洋三学芸員、宇都宮市・浦和市・東京へ出張。
7月29日(木)―7月30日(金)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、熊本県八代市へ出張。
8月14日(土)	公開研究会「子供と美術のこれから」参加及び夏休み子供美術館・ギャラリートーク視察のため鬼本佳代子学芸員、熊本市へ出張。
8月18日(月)―8月20日(水)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、大阪・京都へ出張。
8月26日(木)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、長崎市へ出張。
9月1日(水)―9月2日(木)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、静岡・岐阜市へ出張。
9月21日(日)―9月22日(水)	珠玉の東南アジア美術展調査のため尾崎直人学芸員、別府市へ出張。
9月18日(土)―9月29日(水)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、アムステルダム・ロンドン・ベルリンへ出張。
10月17日(日)―10月22日(金)	ホルダー美術館展調査のため石田泰弘学芸員、ホルダーへ出張。
10月20日(水)―10月21日(木)	作品調査のため山口洋三学芸員、東京へ出張。
10月26日(火)―10月28日(木)	笑い展作品調査のため渡辺雄二学芸員、横浜市・東京へ出張。
10月31日(日)	水晶の塔をさがして展作家調査のため山口洋三学芸員、広島市へ出張。
11月12日(金)―11月13日(土)	アート・ドキュメンテーション研究フォーラム参加のため畑千代司書、東京へ出張。
11月16日(火)―11月18日(木)	ゴッホ展調査のため柴田勝則学芸員、東京へ出張。
11月19日(金)―11月20日(土)	ゴッホ展調査のため鬼本佳代子学芸員、東京へ出張。
12月1日(水)―12月3日(金)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、姫路市・松阪市・神戸市へ出張。
12月3日(金)―12月5日(日)	水晶の塔をさがして展作家作品調査のため山口洋三学芸員、東京・大阪へ出張。
12月8日(水)―12月9日(木)	作品購入調査のため尾崎直人学芸員、東京へ出張。
12月8日(水)―12月9日(木)	作品購入調査のため尾花剛館長、東京へ出張。
12月8日(水)―12月9日(木)	国際交流基金アジアセンター美術事業懇談会のため都賀悦子学芸員、東京(国際交流基金アジアセンター)へ出張。
12月11日(土)―12月12日(日)	アミューズビジョン研究会参加及びおかしき世界子供美術博物館教育普及活動視察のため鬼本佳代子学芸員、名古屋・岡崎市へ出張。
12月15日(水)―12月17日(金)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、東京へ出張。
12月21日(火)―12月22日(水)	展覧会調査のため石田泰弘学芸員、東京へ出張。

■平成12年

1月17日(月)―1月18日(火)	笑い展作品調査のため渡辺雄二学芸員、東京へ出張。
1月23日(日)―1月24日(月)	ゴッホ展調査のため柴田勝則学芸員、東京へ出張。
1月23日(日)―1月26日(水)	水晶の塔をさがして展作家作品調査のため山口洋三学芸員、水戸市・名古屋へ出張。
1月25日(火)―1月26日(水)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、京都・尼崎市へ出張。
2月3日(木)―2月5日(土)	第15回学芸員研修「美術館・教育普及の可能性」参加のため鬼本佳代子学芸員東京へ出張。
2月17日(木)―2月18日(金)	水晶の塔をさがして展調査のため山口洋三学芸員、東京・大阪へ出張。
3月8日(水)―3月9日(木)	笑い展調査のため渡辺雄二学芸員、津和野市へ出張。
3月15日(水)―3月17日(金)	作品調査のため柴田勝則学芸員、大阪・京都・東京・浜松市へ出張。
3月31日(金)―4月1日(土)	町田市立国際版画美術館教育普及活動視察のため鬼本佳代子学芸員、町田市へ出張。

美術資料収集件数一覧

近現代美術				古美術			
購入	寄贈一般	寄贈西本コレクション	合計	購入	寄贈一般	寄贈エイクスマコレクション	合計
6件	16件	340件	362件	46件	1件	250件	297件
				総計 659件			



平野運 麻里の像 1985年 \*



富田溪仙 白田蓮乙、キク夫妻図 1907年 \*

近現代美術

■購入

日本の作家 版画		作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-840	吉田遠志	トムソンガゼル	1977	30.2×45.3	木版・紙	99002624
2-E-841	吉田遠志	東アフリカの夕	1977	30.1×50.3	木版・紙	99002625
2-E-864	吉田遠志	或る日の東アフリカ No.4	1981	27.0×60.0	木版・紙	99002626
2-E-867	吉田遠志	或る日の東アフリカ No.9	1982	27.0×60.0	木版・紙	99002627
2-E-884	吉田遠志	時速115キロ	1983	40.5×119.9	木版・紙	99002628

海外の作家 油彩

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-A-405	サルヴァドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	1950	275.3×209.8	油彩・画布	99003550

■寄贈 一般

九州の作家 油彩		作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-452	熊野礼夫	農婦	1953	146.2×112.3	油彩・画布	99020014
1-A-454	熊野礼夫	耳	1962	145.0×111.8	油彩・画布	99020015
1-A-455	浦 純一	風地(犬の像)	1986	130.6×161.9	油彩、テンペラ・画布	99020017
1-A-458	田中春弥	萬葉枝	1985	130.5×194.0	油彩・画布	99020018
1-A-459	古澤岩美	なげき肌	1951	41.3×32.0	油彩・画布	99020023

九州の作家 日本画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-191	富田溪仙	桐に鳳凰	1907	32.5×358.0	絹本着色	99020021
1-B-192	富田溪仙	益田道乙・キク夫妻図	1907	82.2×32.3(道乙) 82.0×32.3(キク)	絹本着色	99020020

九州の作家 水彩

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-C-205	上村次敏	題不詳	1961	78.2×99.0	グアッシュ・紙	99020013

九州の作家 素描

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-D-354	古澤岩美	題不詳	1960	41.3×32.0	鉛筆・バステル・紙	99020022

九州の作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-41	宮崎準之助	木の球による提示(二) 状況	1966	74.3×46.0×11.0	木(樺、松)	99020025
1-G-42	宮崎準之助	木の球による提示(二) 状況	1966	24.7×29.4×11.2	木(杉、樟)	99020027
1-G-43	宮崎準之助	題不詳	1969頃	300.0×39.5×36.5	木(樟)	99020026
1-G-44	宮崎準之助	空荷の車(一)	1972	194.8×75.0×105.5	木(樟、桜)	99020024
1-G-46	米倉 徳	ドンキホーテ	1959	101.5×24.0×14.0	テラコッタ	99020028

九州の作家 その他

所蔵品番号	作家名	品名	寸法(cm)	素材	備品受入番号
1-K-408	富田溪仙	参考資料(絵の具箱)	87.1×47.8×26.7	木、陶器、顔料、紙、金属	99020019















所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
18-Hd-326	アラビア文字文様更紗	インドネシア	20世紀前期	224.5×90	木綿	99007050
18-Hd-327	花鳥文様更紗	インドネシア	19世紀後期	201×106.5	木綿	99007051
18-Hd-328	孔雀草花文様更紗	インドネシア	20世紀前期	192.5×106.5	木綿	99007052
18-Hd-329	孔雀草花文様更紗	インドネシア	20世紀前期	241.5×106.5	木綿	99007053
18-Hd-330	草花文様更紗	インドネシア	20世紀前期	197×106.5	木綿	99007054
18-Hd-331	草花鳥獣文様更紗	インドネシア	20世紀前期	211×92	木綿	99007055
18-Hd-332	草花文様更紗	インドネシア	20世紀前期	172×105.5	木綿	99007056
18-Hd-333	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	198×83	木綿	99007057
18-Hd-334	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	236×105.5	木綿	99007058
18-Hd-335	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	238.5×105	木綿	99007059
18-Hd-336	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	214×89	木綿	99007060
18-Hd-337	アラビア文字文様更紗	インドネシア	20世紀前期	86.5×91	木綿	99007061
18-Hd-338	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	200.5×105	木綿	99007062
18-Hd-339	草花鳥獣文様更紗	インドネシア	20世紀前期	105×58	木綿	99007063
18-Hd-340	花鳥文様更紗	インドネシア	19世紀後期	203×106.5	木綿	99007065
18-Hd-341	斜線草花文様更紗	インドネシア	20世紀前期	242×107	木綿	99007066
18-Hd-342	花瓶文様更紗	インドネシア	20世紀前期	54×53	絹	99007067
18-Hd-343	ガルーダ草花文様更紗	インドネシア	20世紀前期	261×51	絹	99007068
18-Hd-344	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	230×49	絹	99007069
18-Hd-345	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	201.5×106.5	木綿	99007070
18-Hd-346	ガルーダ草花文様更紗	インドネシア	20世紀	370×60	木綿	99007071
18-Hd-347	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀	380×58	木綿	99007072
18-Hd-348	織物文様更紗	インドネシア	20世紀	210×85	木綿	99007073
18-Hd-349	花鳥文様更紗	インドネシア	20世紀前期	213×106	木綿	99007074
18-Hd-350	花東文様更紗	インドネシア	20世紀前期	210×106	木綿	99007075
18-Hd-351	花東文様更紗	インドネシア	20世紀前期	206×106	木綿	99007076
18-Hd-352	唐草文様更紗	インドネシア	20世紀前期	308×104	木綿	99007077
18-Hd-353	菱格子王冠文様更紗	インドネシア	20世紀前期	247×106	木綿	99007078
18-Hd-354	バラ文様更紗	インドネシア	20世紀前期	249×105	木綿	99007079
18-Hd-355	孔雀文様更紗	インドネシア	20世紀後期	197×106	木綿	99007080
18-Hd-356	孔雀文様更紗	インドネシア	20世紀後期	166×52.5	木綿	99007081
18-Hd-357	幾何学文様縹糸紋織	インドネシア	不詳	103.0×152.0	絹	99007082
18-Hd-358	幾何学人物動物文様更紗	インドネシア	不詳	479×25.5	木綿	99007083
18-Hd-359	幾何学文様経緯緋(ハトラ)	インド	不詳	83.5×204.0	絹	99007084
18-Hd-360	象獣文様経緯緋(ハトラ)	インド	不詳	88.0×211.0	絹	99007085
18-Hd-361	蜀江錦文様更紗	インド	20世紀前期	244×107	木綿	99007086
18-Hd-362	蜀江錦文様更紗	インド	20世紀前期	112.5×261.4	木綿	99007087
18-Hd-363	蜀江錦文様更紗	インド	20世紀前期	108×243.0	木綿	99007088
18-Hd-364	蜀江錦文様更紗	インド	20世紀前期	219×99	木綿	99007089
18-Hd-365	蜀江錦文様更紗	インド	20世紀前期	223×114	木綿	99007090

図書資料

	和書	洋書
購入	123	33
	16	18
	0	0
寄贈	64	32
	351	16
	333	0
	5	0
	491	141
合計	1383	240
総計		1623

単位(冊)

映像資料

	数量
購入	26
	0
	2
寄贈	2
	0
	0
合計	30

単位(点)

美術資料の修復

近現代美術

種別	作家名	作品名	素材・技法	寸法(cm)	数量	所蔵品番号
油彩	横山操	溶鉱炉	岩彩・画布	227.6×1092.0	1点	2-B-8
		ニコラ・ド・スタール	黄と緑の長方形	油彩・画布	129.7×97.4	1点

古美術

種別	作品名	作者名	品質	法量 (cm)	数量	所蔵品番号
絵画	文宣肖像		絹本着色	165.5×98.0	掛幅装 1幅	14-B-24
	仕女図	伝・改珂筆	絹本着色	(各)162.2×41.0	掛幅装 4幅対	7-B-149
	老人六歌仙図屏風	仙厓義梵	紙本着色	136.5×60.5	屏風装 6曲1隻	14-B-21
	声屋蓋下絵回巻	伝・土佐光信	紙本着色	30.8×374.8	巻子装 1巻	6-B-42
刀剣	短刀	来 国光	短刀	長さ29.0	1口	14-H-7

美術資料の貸出

近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	貸出先	貸出期間	
油 彩	タイガー立石	大停電66	1-A-379	田川市美術館	H.11.4.3~5.14	
		安井善太郎	初春	7-A-50	井原市立田中美術館	H.11.4.7~6.9
		草間彌生	黄色の空をとび雛鷺	2-C-10	東京都現代美術館	H.11.4.上旬~7.下旬
		サルヴァドール・ダリ	ホルト・リガトの聖母	3-A-405	日本テレビ放送網(株)	H.11.6.1~10.25
日本画	富田溪仙	御室の桜	1-B-67	宮城県美術館他5館	H.11.7.12~8.27	
		壁山南風	雅日	1-B-77	宮城県美術館他5館	H.11.7.12~8.27
油 彩	三岸好太郎	海と射光	2-A-40	京都国立近代美術館	H.11.10.26~12.3.25	
写 真	山口正城	形態第3番フォトグラム	2-F-1	京都国立近代美術館	H.11.10.26~12.3.25	
日本画	横山操	溶鉱炉	2-B-8	東京国立近代美術館他1館	H.11.5.15~12.2.4	
		坂本繁二郎	大鳥の一部	1-A-43	石橋財団石橋美術館	H.11.7.1~9.26
油 彩	坂本繁二郎	鯉	1-A-44	石橋財団石橋美術館	H.11.7.1~9.26	
		牧馬	1-A-45	石橋財団石橋美術館	H.11.7.1~9.26	
日本画	中村琢二	六月の庭	1-A-206	宗像市教育委員会	H.11.7.8~7.27	
		沖繩の街	1-A-188	宗像市教育委員会	H.11.7.8~7.27	
		赤いセーターの女	1-A-189	宗像市教育委員会	H.11.7.8~7.27	
		彫刻と女	2-A-39	豊後県立美術館	H.11.9.1~10.8	
		富田溪仙	沖繩三題	1-B-65,158	群馬県立近代美術館	H.11.9.11~11.17
		藤島武二	橋を持つ婦人	7-A-71	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7
油 彩	脇田 和	魚網	2-A-53	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	貸出先	貸出期間	
版 画	アンリ・マティス	「ジャズ」より「道化師」	3-E-358	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「サーカス」	3-E-359	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「馬、女曲芸師、道化師」	3-E-362	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「イカカス」	3-E-365	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「ピエロの埋葬」	3-E-367	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「ナイフを投げける人」	3-E-372	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「運命」	3-E-373	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
	アンリ・マティス	「ジャズ」より「すべり台」	3-E-377	大分県立芸術会館	H.11.10.18~12.7	
写 真	瑛九	無題	1-F-2	三重県立美術館	H.11.8.17~11.25	
	瑛九	コンストラクション	1-F-24	三重県立美術館	H.11.8.17~11.25	
	山口正城	形態第3番フォトグラム	2-F-1	三重県立美術館	H.11.8.17~11.25	
油 彩	ラファエル・コラン	帽子を持つ婦人	3-A-2	静岡県立美術館外5館	H.11.9.1~12.7.10	
版 画	野田哲也	日記1973年10月25日	1-E-308	広島市現代美術館	H.11.9.1~12.7.10	
油 彩	川口軌外	風景(モントパン)	2-A-21	和歌山県立近代美術館	H.11.10.19~12.26	
	川口軌外	円光	2-A-22	和歌山県立近代美術館	H.11.10.19~12.26	
	タイガー立石	大傳電66	1-A-379	(財)協川文化振興事業団O美術館	H.11.11.3~12.1.13	
	伊藤研之	古い兵舎の風景	1-A-17	福岡市中央区	H.11.11.15~11.21	
	青木 寿	暁	1-A-424	福岡市中央区	H.11.11.15~11.21	
	木下邦子	蟬塚と木靴(室内の一隅)	1-A-328	福岡市中央区	H.11.11.15~11.21	
	写 真	片山撰三	井上三綱(No.275)	1-F-323	福岡市中央区	H.11.11.15~11.21
	片山撰三	宮本三郎(No.376)	1-F-424	福岡市中央区	H.11.11.15~11.21	
	油 彩	長谷川陽三	漱	1-A-419	福岡市中央区	H.11.11.15~11.21
	ジョアン・ミロ	ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子	3-A-10	東京国立近代美術館	H.11.12.13~12.4.1	
水 彩	ジャン・テュビュツフェ	もがく	3-A-3	東京国立近代美術館	H.11.12.13~12.4.1	
ヴォルス	題不詳(いよいよもなくやわらかな色彩)	3-C-2	東京国立近代美術館	H.11.12.13~12.4.1		
素 描	村山樫多	自画像	2-D-5	東京国立近代美術館	H.11.12.13~12.4.1	
油 彩	菅井茂	まつり	2-A-31	兵庫県立近代美術館	H.12.3.25~8.30	
日本画	横山大観	臘月	2-B-6	ふくやま美術館	H.12.3.31~5.20	
	横山大観	寒山拾得	2-B-7	ふくやま美術館	H.12.3.31~5.20	
	横山大観	矢走の朝	7-B-54	ふくやま美術館	H.12.3.31~5.20	

古美術

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	貸出先	貸出期間
陶磁器	色絵吉野山図茶壺	野々村仁清	6-Ha-50	鳥根県立美術館他3館	H.11.6.上旬~9.下旬
絵 画	花籠図	尾形乾山	6-B-36	鳥根県立美術館他3館	H.11.6.上旬~9.下旬
陶磁器	色絵菊図向付	尾形乾山	6-Ha-109	鳥根県立美術館他3館	H.11.6.上旬~9.下旬
	梅香合	尾形乾山	6-Ha-86	鳥根県立美術館他3館	H.11.6.上旬~9.下旬
絵 画	尹大納言絵詞		6-B-18	千葉市美術館	H.11.8.上旬~9.中旬
	信衆檀壇文垂		6-Ha-42	MIHO MUSEUM	H.11.8.下旬~12.2.下旬
	色絵唐子遊戯文六角香炉	柿右衛門様式	14-Ha-33	九州陶磁文化館	H.11.9.30~11.30
彫 刻	薬師如来坐像		5-G-2	熊本県立美術館	H.11.9.30~12.10
	十二神将 丑神像		5-G-7-2	熊本県立美術館	H.11.9.30~12.10
	十二神将 午神像		5-G-7-7	熊本県立美術館	H.11.9.30~12.10
	阿弥陀如来立像		5-G-3	熊本県立美術館	H.11.9.30~12.10
絵 画	源氏物語図屏風	狩野派	14-B-8	大分市教育委員会	H.11.10.12~12.10

収集審査委員

近現代美術

- 乾 由明 金沢芸術工芸大学学長
- 富山秀男 プリチストン美術館館長
- 中村英樹 名古屋造形芸術大学教授
- 三輪英夫 九州大学助教授
- 古川智次 福岡大学教授

古美術

- 小笠原小枝 日本女子大学助教授
- 小笠原信夫 東京国立博物館工芸課長
- 菊竹淳一 九州大学教授
- 財津永次 下関市立美術館館長
- 辻 惟雄 多摩美術大学学長
- 吉田宏志 京都府立大学教授
- 吉永陽三 佐賀県立九州陶磁文化館学芸課長

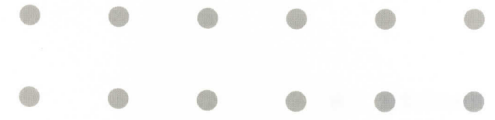
美術館協議会委員

- 会長 青木 秀 西日本新聞社取締役相談役
- 学校教育関係者 出田紘子(新任) 多々良中学校校長
- 境 敬光 福岡市立西陵高校校長
- 本間昭男 愛宕小学校校長
- 社会教育関係者 石橋美恵子(新任) 福岡市社会教育委員
- 井上長利 福岡市老人クラブ連合会副会長
- 小林俊子 福岡市青少年団体連絡協議会理事
- 柴田ハル工 福岡市地域婦人会連絡協議会会長
- 学識関係者 大西修也 九州芸術工科大学教授
- 菊竹淳一 九州大学教授
- 城野節子 福岡ユネスコ協会理事
- 中西久吉 福岡市美術展運営委員
- 西島伊三雄 福岡文化連盟理事長
- 長谷川陽三 福岡県美術協会会員
- 古川智次 福岡大学教授
- 吉岡 紋 作家

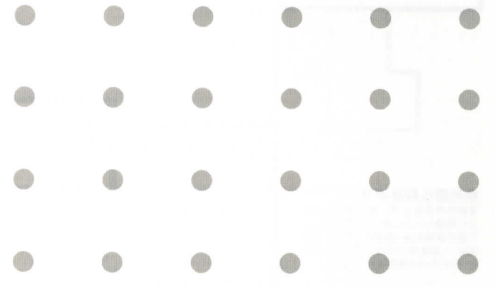
(五十音順・敬称略・肩書きは平成11年度のもの)

職員

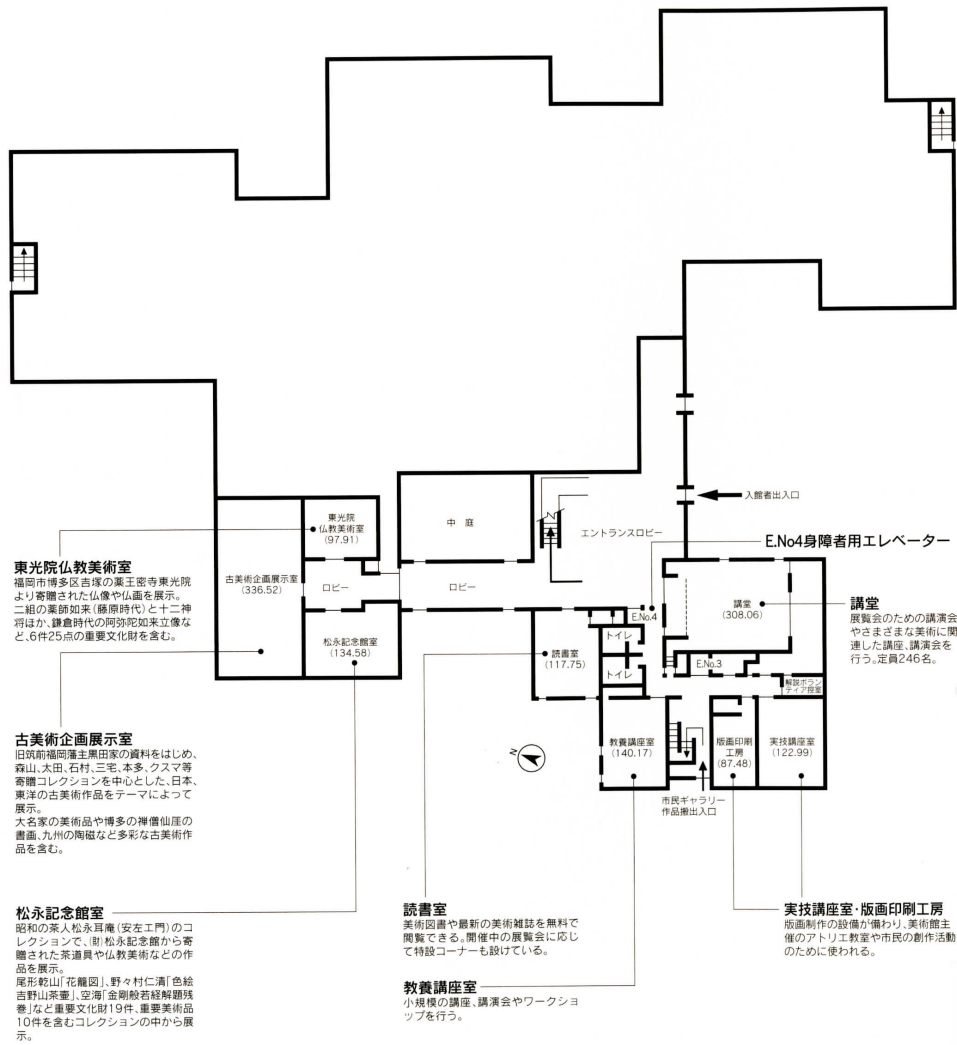
- 館長 尾花 剛
- 副館長 安永幸一 (アジア美術館館長兼務)
- 事業管理部長 脇山勝之 (アジア美術館事業管理部長兼務)
- 庶務課長 清水隆之
- 庶務係長 三浦育志朗
- 庶務係 川岡洋子
- 松尾 稔
- 計画管理係長 野村文博
- 計画管理係 龍 佳永 (平成11年5月1日付異動転出)
- 稲永幸一 (平成11年5月1日付異動転入)
- 学芸課長 石田泰弘
- 学芸係長 尾崎直人
- 主任学芸主事 柴田勝則
- 渡辺雄二
- 学芸員 都築悦子
- 山口洋三
- 三谷理華
- 山本香瑞子
- 鬼本佳代子
- 平川フジ子
- ギャレット三宅万里子
- 中原千代子
- 畑 千代美



資料



資料來源：...  
...



**特別展示室A・B**

国内外のさまざまなテーマの大規模な美術展を開催。またB室は市民や作家の発表の場としても使われる。

**日本画工芸室**

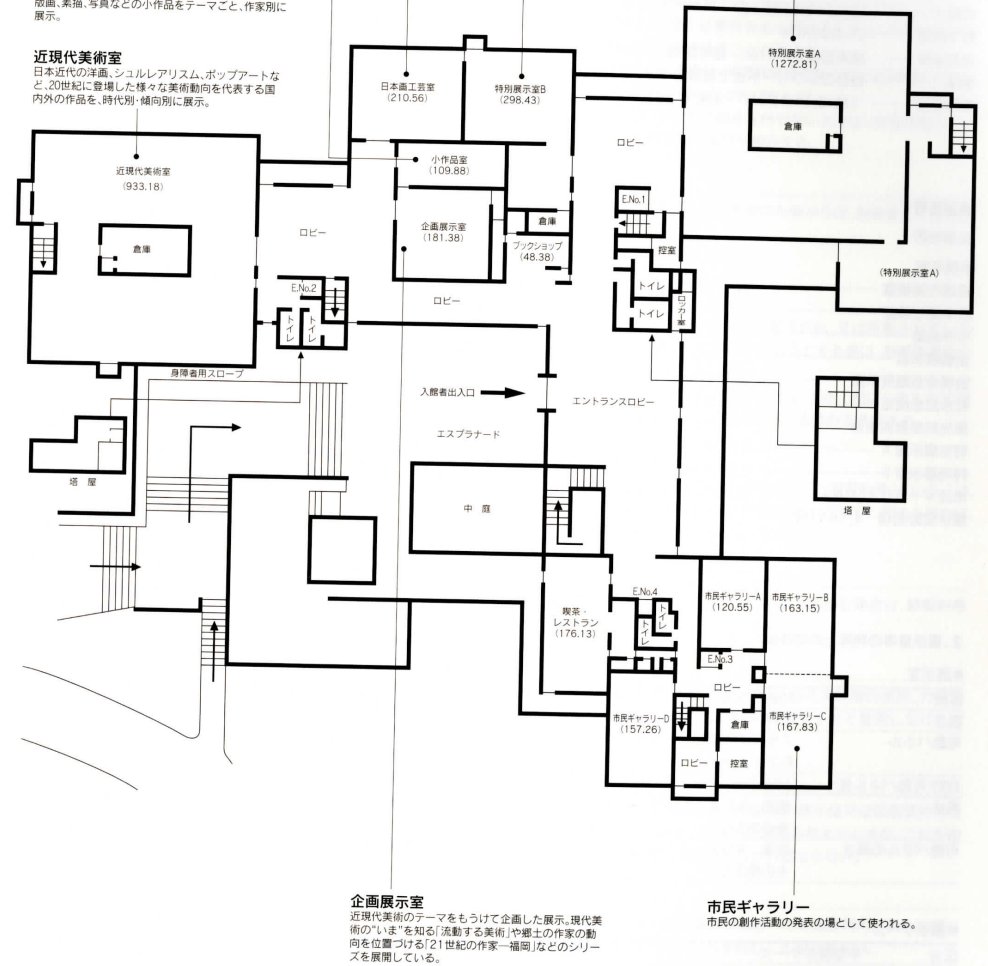
新田溪仙、吉村忠夫、水上素生ら郷土出身の日本画家のほか太田清蔵氏(元東邦生命会長)の収集した近代日本画(太田コレクション)などの作品を中心に展示。

**小作品室**

版画、素描、写真などの小作品をテーマごと、作家別に展示。

**近現代美術室**

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、20世紀に登場した様々な美術動向を代表する国内外の作品を、時代別・傾向別に展示。





## 施設概要

### 1. 建築概要

位置	福岡市中央区大濠公園 1番 6号
設計管理	(株)前川国男建築設計事務所
工事施工	建築工事: 戸田建設(株) 電気工事: 東邦電気工業(株) 空調工事: (株)三晃空調 給排水衛生設備工事: (株)大方工業所
工期	昭和53年1月—昭和54年10月
開館	昭和54年11月3日
敷地面積	25,866㎡
建物面積	建築面積 8,541㎡ 延床面積 14,526㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建(一部塔屋 3階建)
各階面積	1階: 8,113.96㎡ 2階: 6,201.56㎡ 塔屋: 210.35㎡

### 各室面積

#### 主要施設

■展示室		■その他主なもの	
近現代美術室	933.18㎡ 2F	講堂	210.39㎡ 1F(246席)
日本画工芸室	210.56㎡ 2F	教養講座室	125.58㎡ 1F
小作品室	109.88㎡ 2F	実技講座室	122.99㎡ 1F
企画展示室	181.38㎡ 2F	版画印刷工房	76.07㎡ 1F
古美術企画展示室	336.52㎡ 1F	読書室	117.75㎡ 1F
松永記念館室	134.58㎡ 1F	収蔵庫	1,382.48㎡ 1F(5室)
東光院仏教美術室	97.91㎡ 1F	事務室	586.72㎡ 1F(館長室・図書室含む)
特別展示室 A	1,272.81㎡ 2F		
特別展示室 B	298.43㎡ 2F		
市民ギャラリー(4室)	608.79㎡ 2F		
展示室総面積	4,184.04㎡		

### 2. 展示室等の利用上の諸機能

#### ■展示室

区分	特別展示室 A	特別展示室 B	市民ギャラリー A	市民ギャラリー B	市民ギャラリー C	市民ギャラリー D
長さ	217.1m	70.2m	36.7m	44.3m	43.6m	44.9m
可動パネル	7.5m×12面 6.2m× 8面	9.5m×4面	7.5m×2面	7.5m×2面	7.5m×2面	7.5m×2面
合計(可動パネル含)	356.7m	108.2m	51.7m	59.3m	58.6m	59.9m
高さ	前室 5.0m その他4.0m	4.0m	4.0m	4.0m	4.0m	4.0m
可動パネルの高さ	前室 4.5m その他3.5m	3.5m	3.5m	3.5m	3.5m	3.5m

#### ■展示ケース

区分	平型展示ケース	立型展示ケース A	立型展示ケース B
数量	10台	8台	9台
大きさ	幅2,100 奥行800 高さ1,050	幅2,700 奥行800 高さ2,700	幅1,320 奥行1,200 高さ2,700
材質	鋼材塗装(黒)	左に同じ	左に同じ

## 関係法規

### 福岡市美術館条例

昭和54年 3月 8日条例第38号  
改正 最新改正平成10年10月 1日条例第47号

#### 設置

第1条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福岡市美術館(以下「美術館」という。)を福岡市中央区大濠公園に設置する。

#### 事業

第2条 美術館は、次の各号に掲げる事業を行う。  
(1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集し、保管し展示すること。  
(2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。  
(3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し及びその奨励を行うこと。  
(4) 施設の利用に関すること。  
(5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的達成に必要なこと。

#### 職員

第3条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

#### 観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術作品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

#### 利用の許可

第5条 美術に関する展覧会、講演会、講習会、研究会及び美術の創作等のため美術館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときもまた同様とする。

#### 利用の制限

第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、美術館の利用を拒み、又は前条に規定する許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。  
(1) 利用者(利用しようとする者を含む。以下本条において同じ。)が美術館の設置の目的に反する利用をし、又はそのおそれがあるとき。  
(2) 利用者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあるとき。  
(3) 前2号に掲げるものの他、美術館の管理上支障があると認められるとき。  
2 前項の措置によって利用者が損害を受けても、本市はその責めを負わない。

#### 入館の制限

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。  
(1) 他人に迷惑をかけ、若しくは展示品又は施設設備等を損傷するおそれがあると認められるもの  
(2) 管理上の指示又は指導に従わないもの  
(3) 管理上支障があると認められるもの

### 利用する権利の譲渡等の禁止

第8条 利用者は、美術館を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

### 特別な設備

第9条 利用者は、美術館に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、教育委員会が特に認めるときは、この限りでない。  
2 教育委員会は、管理上必要があると認めるときは、利用者の負担において特別な設備をさせることができる。  
3 前2項に規定する設備は、利用許可期限満了前に利用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。  
4 利用者が前項に規定する撤去を行わないときは、教育委員会がこれをを行い、その費用を利用者から徴収する。

### 使用料

第10条 第5条に規定する許可を受けた者からは、別表第2に定める額の使用料を徴収する。  
2 前項の使用料は、前納とする。

### 撮影等の許可及び手数料

第11条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は所蔵されている美術作品等の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。  
2 前項に規定する許可を受けた者からは、1点1回につき2,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数を徴収する。

### 観覧料等の不還付

第12条 既納の観覧料、使用料及び手数料(以下「観覧料等」という。)は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。

### 観覧料等の減免

第13条 教育委員会は、特別の理由があると認める場合は、観覧料等を減免することができる。

### 利用者の管理義務

第14条 利用者は、利用期間中その利用に係る美術館の施設、付属設備及び図書資料等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

### 損害賠償

第15条 利用者が、美術館の施設、付属施設、展示品又は図書資料等を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

### 職員の立入り

第16条 利用者は、美術館の職員が職務のため当該利用に係る施設に立ち入ろうとするときは、これを拒むことができない。

### 美術館協議会

第17条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定により、美術館に美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。  
2 協議会は、美術館及び福岡アジア美術館条例(平成10年福岡市条

例第47号)により設置された福岡アジア美術館の運営に関し、それ  
ぞれの館長の諮問に応じるとともに、これらの館長に対して意見を  
述べたものとする。

- 協議会の委員の定数は、20人以内とする。
- 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、  
前任者の残任期間とする。
- 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定  
める。

#### 委任

第18条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事  
項は、教育委員会規則で定める。

附則(平成10年10月1日条例第47号)抄

#### 施行期日

- この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

#### 別表第1 美術作品等観覧料

区分	金額	
	個人	20人以上の団体
常設展示観覧 一般	200円	1人につき150円
大学生・高校生	150円	1人につき100円
中学生・小学生	100円	1人につき60円
特別展示観覧	1人につき2,000円以内(教育委員会が定める額)	

#### 備考

- 常設展示観覧とは、美術館が平常的に展示する美術作品等の観覧  
をいい、特別展示観覧とは、美術館が特別に展示する美術作品等の  
観覧をいう。
- 一般とは、大学生・高校生及び中学生・小学生以外の者で15歳以  
上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、  
専修学校、各種学校又はこれらに準ずるものに在学する者をいう。

#### 別表第2

(1) 展示室使用料		
区分	単位	金額
特別展示室	A	1日 31,000円
	B	1日 6,800円
市民ギャラリー	1室1日	3,300円

(2) 講座室等使用料		
区分	単位	金額
教養講座室	1時間	900円
実技講座室	1時間	900円
版画印刷工房	1時間	900円
講堂	1時間	1,800円

#### 備考

- 特別展示室又は市民ギャラリーの利用者が入館者から入場料を  
徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の10割増とする。
- 使用料の算定に当たって用いる日数又は時間数に1日又は1時  
間未満の端数があるときは、当該端数をそれぞれ1日又は1時間と  
みなす。
- 付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

福岡市美術館条例施行規則 昭和54年7月2日教育委員会規則第12号  
最新改正 平成9年3月31日教規則5

#### 趣旨

第1条 この規則は、福岡市美術館条例(昭和54年福岡市条例第38号。  
以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

#### 組織

第2条 福岡市美術館(以下「美術館」という。)の事務を行うため、美  
術館に次の課及び係を置く。

庶務課 庶務係 計画管理係  
学芸課 学芸係

#### 分掌事務

第3条 課の分掌事務は、次のとおりとする。

##### 庶務課

- 美術館内の連絡調整に関すること。
- 美術館の維持管理に関すること。
- 美術館の利用その他便宜供与に関すること。
- 美術館関係文書の收受及び発送に関すること。
- その他学芸課の主管に属しないこと。

##### 学芸課

- 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)  
の収集、保存及び展示に関すること。
- 寄託に係る美術作品等の選定に関すること。
- 美術作品等に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
- 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- 美術に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等の開催及び奨  
励に関すること。
- 他の美術館等との連絡、協力、情報の交換及び美術作品等の相  
互貸借等に関すること。
- その他美術館の行う事業に係る専門的事項に関すること。

#### 職員

第4条 美術館に館長、副館長及び事業管理部長を、課に課長を、係に  
係長を置く。

2 前項の職員のほか、特に必要なときは、美術館に特命担当の部長、  
特命担当の課長又は主査、課に主査又は主任学芸主事を置くことが  
ある。

3 前2項の職員のほか、課に吏員その他の職員を置く。

4 館長、副館長、事業管理部長、特命担当の部長、課長、特命担当の課  
長、係長、主査及び主任学芸主事は、吏員のうちから命ずる。

5 前項の規定にかかわらず、館長については非常勤委託職員をもつ  
て充てることができる。

6 係長、主査又は主任学芸主事のうちから総括係長を命ずることが  
ある。

7 館長は、上司の命を受けて、美術館の事務を統理し、所属職員を指  
揮監督する。

8 副館長は、上司の命を受けて、美術館の事務につき館長を補佐し、  
所属職員を指揮監督する。

9 事業管理部長は、上司の命を受けて、美術館の事務を掌理し、所属  
職員を指揮監督する。

10 課長及び係長は、上司の命を受けて、課に属する事務又は、係に属  
する事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

11 特命担当の部長、特命担当の課長、主査及び主任学芸主事は、上司  
の命を受けて、美術館に属する特定の事務を掌理し、所属職員を指  
揮監督する。

12 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

#### 職務権限の代行

第5条 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に  
事務取扱者を命じないときは、副館長が館長の職務権限を代理して  
行う。ただし、重要又は異例な事務については、教育次長の指揮を受  
けなければならない。

2 前項の規定により、館長の職務権限を代理して行う者がいないとき  
は、館長の職務権限は、教育次長が行う。

#### 開館時間

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時30分まで(7  
月1日から8月31日までの間(日曜日及び休日(国民の祝日に関する  
法律(昭和23年法律第178条)に規定する休日をいう。以下同じ。))  
を除く。以下「夏季期間」という。))においては、午後7時30分まで)と  
する。ただし、入館は、午後5時まで(夏季期間においては、午後7時  
まで)とする。

2 前項の規定にかかわらず、教育長が必要と認める場合は、開館時  
間を変更することができる。

#### 休館日

第7条 美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、  
教育長が必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を  
設けることができる。

- 毎週月曜日(その日が休日に当たるときは、その翌日)
- 12月28日から翌年1月4日まで

#### 展示室等の利用

第8条 条例第5条の規定により美術館の施設の利用の許可を受け  
ようとするものは、福岡市美術館施設利用許可申請書(様式第1号)  
により教育長に申請しなければならない。

2 前項の申請は、展示室については、利用しようとする日が1月1  
日から6月30日までの間である場合にあっては、当該利用しよう  
とする日の属する年の前年の7月31日までに、7月1日から12月  
31日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日  
の属する年の1月31日までにに行わなければならない。ただし、教育  
長が必要と認める場合は、この限りでない。

#### 利用の許可

第9条 教育長は、美術館の施設の利用を許可したときは、福岡市美  
術館施設利用許可書(様式第2号)を交付するものとする。

#### 利用の取止め

第10条 美術館の施設の利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)  
が、利用の取止めをしようとする場合には、あらかじめ福岡市美術  
館施設利用取止め届(様式第3号)を教育長に提出しなければならない。

#### 図書の利用

第11条 美術館の図書の利用に関し必要な事項については、館長が別  
に定める。

#### 利用時間

第12条 美術館の利用時間には、準備及び後片付けに要する時間を含  
むものとする。

#### 開館時間以外の利用

第13条 美術館の開館時間以外の利用は、美術館の運営上支障がない  
場合にのみ許可する。

#### 撮影等の許可

- 第14条 条例第11条第1項の規定により美術作品等の撮影、模写、模造  
等(以下「撮影等」という。)の許可を受けようとする者は、撮影等許  
可申請書(様式第4号)により館長に申請しなければならない。
- 館長は、前項の許可をしたときは、撮影等許可書(様式第5号)を交  
付するものとする。
  - 撮影等の許可は、観覧者の観覧に支障がなく、かつ、美術作品等の  
管理上支障がないと認められる場合にのみ許可するものとする。

#### 入館者及び利用者の心得

第15条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を守らなければな  
らない。

- 建物、付属設備又は美術作品等その他の備品を汚損し、又はそ  
れらのおそれのある行為をしないこと。
- 他の入館者に迷惑をかけること。
- 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- 許可なくして物品を販売し、又は展示しないこと。
- 館内を不潔にしないこと。
- 許可なくして美術作品等の撮影又は模写をしないこと。
- 施設、設備等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。
- 所定の場所以外に出入りしないこと。
- 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から職員が行う指  
示又は指導に従うこと。

2 利用者は、前項に規定するもののほか、次の各号に掲げる事項を  
守らなければならない。

- 収容人員は、当該施設の所定の人員を超えないこと。
- 条例第7条各号のいずれかに該当する者に対しては、当該施設  
への入場を拒絶し、又は退場を命ずること。
- 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- 当該施設への入場者に前項に規定する事項を守らせること。

#### 利用後の点検

第16条 利用者は、施設、設備、備品等の使用を終わったときは、職員  
の点検を受けなければならない。

#### 付属設備の使用料

第17条 美術館の付属設備の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

#### 撮影等の手数料

第18条 条例第11条第2項に規定する手数料の額は、別表第2のと

りとする。

使用料及び手数料の徴収

第19条 使用料は、利用の開始までに徴収する。

2 手数料は、撮影等の開始までに徴収する。

使用料の還付

第20条 条例第12条ただし書の規定による使用料の還付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 天災地変その他不可抗力により利用できなくなったとき 全額
(2) 利用者(展示室の利用者を除く。)が利用日の10日前までに利用取止め届を提出したとき 全額
(3) 利用者が利用日の5日前(展示室の利用者については3月前)までに利用取止め届を提出したとき 5割相当額

観覧料の減免

第21条 条例第13条の規定による観覧料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 市内の義務教育諸学校の児童又は生徒及びこれらの引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき常設展示を観覧するとき 全額
(2) 市内に居住する心身障害者(本市が発行する療育手帳、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳(以下「療育手帳等」という。)の交付を受けている者をいう。)が常設展示を観覧するとき 全額
(3) 市内に居住する65歳以上の者が常設展示を観覧するとき 全額
(4) 前3号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額
2 前項第1号又は第4号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館観覧料減免申請書(様式第6号)により教育長に申請しなければならない。
3 第1項第2号又は第3号の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、療育手帳等又は本市が発行するシルバー手帳を職員に提示しなければならない。

使用料の減免

第22条 条例第13条の規定による使用料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 本市が主催し、又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき 全額
(2) 本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき 5割相当額
(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき 全額
(4) 18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき 5割相当額
(5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額
2 使用料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館使用料減免申請書(様式第7号)により教育長に申請しなければならない。ただし、

本市が主催する行事に利用する場合は、この限りではない。

美術館協議会の会長及び副会長

第23条 条例第17条に規定する美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。
3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

会議

第24条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集する。
2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
3 会議の議事は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

委任

第25条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

附則(平成9年3月31日教規則第5号)

この附則は、公布の日から施行する。

別表第1 付属設備使用料

Table with 4 columns: 種別, 区分, 単位, 金額. Rows include 展示設備, 映写設備, 音響照明設備.

備考 付属設備の使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを切り上げる。

別表第2 撮影手数料

Table with 4 columns: 区分, 金額, 備考. Rows include 撮影, 模写・模造, 熟覧.

様式第1号

福岡市美術館施設利用許可申請書. Includes fields for applicant name, address, dates, and purpose.

(注) 1 利用期間には、搬入、搬出の日も含まれます。
2 太枠線内のみ記入してください。

様式第2号

福岡市美術館施設利用許可書. Includes fields for facility name, dates, and terms of use.

様式第3号

<b>福岡市美術館施設利用取止め届</b>			
年 月 日			
(あて先) 福岡市教育委員会教育長			
申請者 所在地		団体名	
代表者		(電話) ②	
次のとおり利用を取り止めますので、福岡市美術館条例施行規則第10条の規定によりお届けします。			
許可年月日	年 月 日	許可番号	第 号
利用期間	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
利用の取止めをする施設又は付属設備			
既納使用料	使用料	円	付属設備使用料 円
取止めの理由			

様式第4号

<b>撮影等許可申請書</b>					
年 月 日					
(あて先) 福岡市美術館長					
申請者 住所		氏名			
		(電話)			
次のとおり美術作品等の撮影等をしたので、許可を申請します。 なお、撮影等に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく職員の指示に従います。					
撮影等の目的					
美術品等の名称	点数	作者名			
撮影等の日時					
方法	撮影・模写・模造・熟覧				
備考					
手数料	撮影	モノクローム	点	円	計
		カラー	点	円	
		模写・模造	点	円	
		熟覧	点	円	円

(注) 太枠内のみ記入してください。

様式第5号

<b>撮影等許可書</b>			
第 号			
年 月 日			
殿			
福岡市美術館長 ②			
年 月 日申請の美術作品等の撮影等を許可します。			
撮影等の目的			
美術品等の名称	点数	作者名	
撮影等の日時			
方法	撮影・模写・模造・熟覧		
留意事項	1. 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく職員の指示に従ってください。 2. 撮影等に当たっては、職員の指示に従ってください。		

**福岡市美術館観覧料減免申請書**

年 月 日

(あて先) 福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地

          団体名

          代表者 (印)

          (電話)

福岡市美術館条例施行規則第21条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館観覧料の減免を申請します。

観覧目的			
観覧日時	年 月 日 ( 曜日 ) 時 分から		
観覧者数	小学生	学年	人
	中学生	学年	人
	その他		人
	引卒者		人

**福岡市美術館使用料減免申請書**

年 月 日

(あて先) 福岡市教育委員会教育長

申請者所在地

          団体名

          代表者 (印)

          (電話)

福岡市美術館条例施行規則第22条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館使用料の減免を申請します。

事業名			
主催者名			
共催者名			
後援者名			
利用施設			
利用期間	年 月 日 ( 曜日 ) 時 分から		
	年 月 日 ( 曜日 ) 時 分まで		
後援する場合は	※本市が負担する経費の額	円	
	当該事業に要する経費の総額	円	
摘要			

(注) ※印の欄は、経費を負担する市の担当課において記入を受けてください。

**福岡市美術館の観覧料の減免について**

1. 福岡市美術館条例施行規則第21条第1項第4号の規定により、教育長が特に必要と認めるとき教育長が必要と認める額は、次のとおりとする。

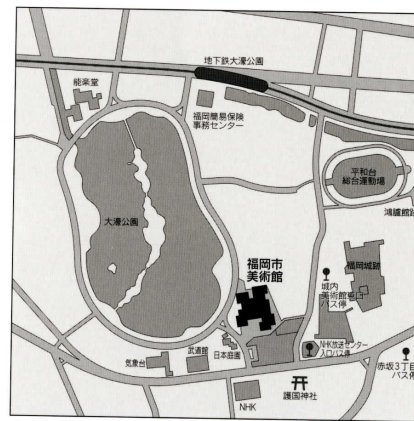
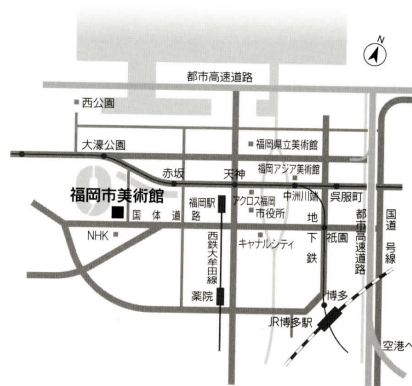
- (1) こどもの日における観覧料の免除について (昭和58年4月16日教育長決裁)

ア. 観覧 常設展示  
 イ. 対象日 5月5日(こどもの日)  
 ウ. 対象者 小学校及び中学校

- (2) 文化の日における観覧料の免除について (昭和62年10月20日教育長決裁)

ア. 観覧 常設展示  
 イ. 対象日 11月3日(文化の日)  
 ウ. 対象者 観覧者全員  
 エ. 観覧料 全額免除とする。

**利用案内**



- 常設展ではボランティアの解説が受けられます。
- 車椅子をご利用の方は案内へお申し出ください。
- 館内では飲食はご遠慮ください。自動販売機等はありません。
- 駐車場は20台分です。周囲に有料駐車場もありますが、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

**交通**

地下鉄=博多駅から10分、天神から5分で大濠公園下車、3番出口より徒歩10分。  
 バス=博多駅または天神から系統番号13で城内美術館東口下車、徒歩3分。  
 天神から系統番号14・60・91・93・201・203・204で赤坂3丁目下車、徒歩5分。  
 車=福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分。

**観覧料**

常設展示室=一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、小・中生100円(60円)。  
 ただし、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳、又は身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。  
 ( )内は団体(20人以上)料金。

**開館時間**

9:30~17:30(入館は17:00まで)

**休館日**

月曜日(月曜日が祝日や振替休日のときは翌火曜日が休館)  
 12月28日~1月4日。

**夏期夜間開館**

7月~8月は19:30まで開館。ただし日曜、祝日を除く。  
 (入館は19:00まで)

平成11年度 福岡市美術館 活動の記録

編集 福岡市美術館  
デザイン 大宝拓雄デザイン事務所  
印刷 ビーアンドティービジネス株式会社  
発行 2001年3月20日 福岡市美術館  
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6  
電話(092)714-6051  
著作権 福岡市美術館 2001年